

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人
北区社会福祉協議会

目 次

令和2年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分	1
1. 法人運営事業サービス区分関連事業	1
(1) 組織運営事業	1
(2) 調査・研究・企画・広報事業	6
(3) 連絡調整事業	9
(4) 災害対応に関する事業	15
(5) 岸町ふれあい館の運営	16
2. 地域福祉事業サービス区分関連事業	17
(1) 地域福祉ネットワーク事業	17
(2) 福祉教育・啓発事業	32
(3) 援護事業	35
(4) その他の福祉事業	36
3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業	37
(1) 友愛ホームサービス事業	37
(2) ちょこっとささえ愛サービス事業	40
(3) 在宅福祉サービス事業	40
(4) その他の在宅福祉事業	41
4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業	44
5. 助成事業サービス区分関連事業	50
6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業	55
7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業	57
(1) 権利擁護センターあんしん北事業	57
(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業	62
8. 視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業サービス区分関連事業	66
9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業	67
(1) 生活困窮者自立支援センター事業	67
(2) 子どもの貧困・孤立防止対策事業	71
10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業	76
11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業	78
12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業	79
II. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分	80
III. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分	81
1. 介護予防拠点施設事業	81
2. 要介護認定調査事業	89
IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分	90
V. その他	91
1. 地区担当	91
2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務	92

令和2年度 事業報告

I. 社会福祉事業区分 地域福祉推進事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分関連事業(事務事業費 28,638 千円、人件費 59,878 千円)

(1) 組織運営事業 (16,026 千円)

① 会議・監査

ア. 理事会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第1回	6/5	12	12	A. 令和元年度事業報告書・収入支出決算書及び監査報告について B. 役員候補者の推薦及び令和2年度定時評議員会の招集について
第2回	10/27	7	12	A. 令和2年度上半期の会長並びに常務理事の活動報告について B. 職員就業規則の改正並びに関連規程の制定について
第3回	3/5	9	12	A. 令和3年度事業・予算の方向性について(案) B. 令和3年度4月以降の土曜日の窓口閉所について C. 給与規程および経理規程の改正について D. 北区老人いこいの家指定管理者公募への申込について E. 成年後見活用あんしん生活創造事業の受託について
第4回	3/22	11	12	A. 令和3年度事業計画・収支予算(案)について B. 令和2年度下半期の会長並びに常務理事の活動報告について C. 就業規則の改正について D. 子ども・若者応援基金設置規程の制定について E. 評議員会の招集について F. 事務局長の選任及び理事候補者の推薦について

イ. 評議員会

開催回数	開催日	出席者数 (人)	現員数 (人)	付 議 内 容
第1回	7/9	17	26	A. 令和元年度事業報告書・収入支出決算書及び監査報告について
第2回	3/30	17	26	A. 令和3年度事業計画・収支予算(案)について B. 役員(理事)の選任について

ウ. 監査

開催日	付 議 内 容
5/27	A. 令和元年度事業執行状況について B. 令和元年度各会計収支決算について C. 令和元年度財産の状況について（令和2年3月31日現在）

② 会員及び会費の状況

会員区分	令和2年度			令和元年度			差異		
	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数 (件)	納入 件数(件)	金額(円)	有効 会員数(件)	納入 件数(件)	金額(円)
個人会員	4,313	3,756	4,866,500	4,546	4,277	5,555,000	△233	△521	△688,500
団体会員	349	318	1,035,500	358	337	1,050,000	△9	△19	△14,500
賛助会員	814	716	1,654,500	847	811	1,828,500	△33	△95	△174,000
合計	5,476	4,790	7,556,500	5,751	5,425	8,433,500	△275	△635	△877,000

③ 寄付金等の状況

ア. 寄付金

寄付区分	令和2年度		令和元年度		差異	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
一般寄付金	193	19,983,156	176	4,964,214	17	15,018,942
指定寄付金	27	1,823,417	23	722,702	4	1,100,715
介護予防事業のため	0	0	2	79,060	△2	△79,060
障害福祉事業のため	1	50,000	0	0	1	50,000
高齢者福祉のため	0	0	1	50,000	△1	△50,000
児童福祉のため	25	1,768,417	18	581,000	7	1,187,417
地域福祉活動推進のため	0	0	0	0	0	0
災害関連のため	0	0	0	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	1	5,000	2	12,642	△1	△7,642
生福資金受託事業	0	0	0	0	0	0
寄付物品	3	140,868	8	470,871	△5	△330,003
合計	223	21,947,441	199	6,157,787	24	15,789,654

イ. 施設整備等寄付金

寄付区分	令和2年度		令和元年度		差異	
	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)	件数 (件)	金額(円)
施設整備等寄付金	0	0	1	150,000	△1	△150,000
合計	0	0	1	150,000	△1	△150,000

④ 地域福祉活動計画等推進委員会

第4次北区地域福祉活動計画策定を受け、令和2年度より地域福祉活動計画等推進委員会を開催し、計画推進のための各機関における役割分担や、進捗評価案等の検討を行った。

ア. 第4次北区地域福祉活動計画の概要

基本理念	誰もが安心して暮らせるまちづくり		
基本目標Ⅰ	一人ひとりが輝くことのできる地域社会の実現		
基本目標Ⅱ	誰もが互いにささえあい、つながり、参加できる共生社会の実現		
基本目標Ⅲ	従来の枠を越えてさまざまな可能性が生まれる地域社会の実現		
策定日	令和元年9月	発行部数	計3,000部

イ. 社会福祉法人北区社会福祉協議会 北区地域福祉活動計画等推進委員会（推進委員会）

開催回数	日程	内容
第1回	11/27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長の互選 ・ 地域福祉活動計画と委員会の役割について ・ 第4次北区地域福祉活動計画の進捗評価案について ・ 今後のスケジュール
第2回	3/25	第4次地域福祉活動計画の進捗評価案について

⑤ 内部研修

開催日	研修名
7/21	災害職員研修（北社協備蓄品の確認、使用方法説明）

⑥ 外部研修参加（各業務別研修は除く）

（人）

開催日	研修名	実施機関	参加人数
6月	新任事務局長研修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	2
7/1	災害ボランティア養成講座運営者コース ※オンライン	東京ボランティア・市民活動センター	2
8月	新任職員研修 ※オンライン	東京都社会福祉協議会	3
8/6・20・ 9/3	災害ボランティア養成講座運営者コース 技術系編 ※オンライン	東京ボランティア・市民活動センター	1
8/20・28	運営管理研修 ※オンライン	東京都社会福祉協議会	1
9月～11月	社会福祉事業従事者研修【Ⅱ】	東京都福祉保健局	8
9月～10月	中堅職員研修	東京都社会福祉協議会	3
10/6	都内区市町村社協職員基礎研修 ※オンライン	東京都社会福祉協議会	1
10月	障害者雇用実務講座	東京しごと財団	4
11月～1月	精神保健福祉研修	東京都立精神保健福祉センター	4
11/18・19	チームリーダー研修	東京都社会福祉協議会	1
11月	年末調整セミナー ※動画配信	応研株式会社	1
12月	会計入門研修 ※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
12月	会計実務研修（初級コース）※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
12月	会計実務研修（中級コース）※動画配信	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	1
1月～3月	「認知症の基本的理解とケアの視点」研 修 ※動画配信	東京都社会福祉協議会	2
3/7	地域福祉フォーラム ※オンライン	東京ボランティア・市民活動センター	7

(2) 調査・研究・企画・広報事業 (10,319千円)

① 広報紙「きたふくし」発行

年6回(奇数月15日)発行

各195,500部発行(カラー刷り)。区内全戸にポスティング。

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第154号	5/15	<ul style="list-style-type: none"> ・北社協の令和2年度の予算が決まりました。 ・北社協の令和2年度の重点的な取組み ・「おちゃのこ祭祭2020」中止のお知らせ ・新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金にお困りの方々へ ・「あんしん北」専門相談 ・高校、大学等への進学を応援します！！ ・小学生の学習ボランティア ～地域の子どもたちのために活動してみませんか～ ・福祉のしごと総合フェア～就職合同説明・相談会～ ・友愛ホームサービス サポートスタッフ募集説明会 ・地域福祉推進にご協力ください ・ご寄付ありがとうございました
第155号	7/15	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告 ・令和元年度決算報告 ・申込受付中！受験生チャレンジ支援貸付金 ・子どもの「学び」、応援してみませんか？ ～学習支援教室を支えるボランティア募集～ ・「遺贈寄付」のご紹介
第156号	9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金にご協力お願いします ・赤い羽根共同募金配分活用事例のご紹介 ・募金を集めてくださっている方の声 ・友愛ホームサービスサポートスタッフ募集説明会 ・成年後見制度のご相談は「あんしん北」へどうぞ ・高校、大学等への進学を応援します！ 令和2年度受験生チャレンジ支援貸付金の申込受付を開始しました。 ・子どもの「学び」、応援してみませんか？ ～学習支援教室を支えるボランティア募集～
第157号	11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・北区歳末たすけあい・地域福祉募金が始まります。 ・歳末たすけあい・地域福祉募金を財源に行っている事業の紹介です ささえあい活動団体の取り組み、車イスの貸出、紙おむつの支給 ・申込受付中！受験生チャレンジ支援貸付金 ・権利擁護センター「あんしん北」の福祉サービス利用援助事業とは？ ・会員募集、広告募集

号	発行日	主 な 掲 載 記 事
第158号	1/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長より新年のご挨拶 ・ こんなことやっています！子どものキャリア学習プログラム ・ 福祉のしごと総合フェア就職合同説明相談会 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止のお知らせ ・ 職員募集！（介護保険要介護認定調査専任職員） ・ 令和3年度 歳末たすけあい・地域福祉募金助成新規団体向け説明会のご案内 ・ おちゃのこ祭祭2021について
第159号	3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい地域福祉募金へのご協力ありがとうございました！ ・ 北区の子どもたちを「学び」で応援！～学習支援活動のご紹介～ ・ 「豊島わくわく学習教室」で学習ボランティアをしてみませんか？ ・ 介護予防拠点施設 ぷらっとほ一む（滝野川東・桐ヶ丘） ・ 「今から考える、老い支度」連続講座を実施しました ・ 読んで学ぼう福祉のこと ・ 物品寄付についてのご案内 ・ 使用済切手を集めています

② ホームページの運営管理

ホームページの積極的活用

ア. トップページバナーを利用した情報発信
イベント告知やきたふくし記事などを紹介。

イ. QRコードの活用

ホームページのアクセス向上をめざし、きたふくしやチラシにQRコードを掲載。

③ フェイスブックページの活用

令和2年度は計160件を超える記事を投稿。コロナ禍での活動やその報告など、広く地域の方々向けに情報を発信。

民生・児童委員協議会にてフェイスブックまとめ記事による月次報告を行った。

④ 北区社会福祉協議会各事業の機関紙

ア. 友愛ホームサービス機関紙「ゆうあい」（年4回）を発行。

利用会員やサポートスタッフから絵や俳句、旅行先のお話などを募集し
機関誌に掲載することで紙面を通じた交流や事業の情報提供を行った。

イ. 地域ささえあい団体広報紙「ささえあい新聞」（臨時号含め年6回）を発行。

定期発行（偶数月15日）

⑤ 地域の行事参加

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域の行事が中止となったため参加実績なし。

※地域福祉係の職員が参加した行事は、4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分
関連事業のページを参照。(P44～)

※介護予防拠点施設(ふらっとほーむ)の職員が参加した行事は、Ⅲ. 1. 介護予防拠点施設(ふら
っとほーむ)のページを参照。(P81～)

⑥ 出前講座

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、出前講座は開催せず。

※権利擁護センター「あんしん北」が行った出前講座については、7. (1) 権利擁護センター
「あんしん北」のページを参照。(P57～)

(3) 連絡調整事業 (1,632 千円)

① 福祉のしごと総合フェア（北区から受託）

区内の福祉施設を中心とした福祉事業所による、就職合同説明・相談会。

北区、北社協、東京都福祉人材センター、ハローワーク王子の計4者共催で下記の内容で開催予定であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すべて中止となる。

開催回数	開催 予定日	会場	参加予定 事業所数 (法人)	参加者 (人)	採用者 (人)
第1回	6/26	北とぴあ飛鳥ホール	31		
第2回	8/24	北とぴあ飛鳥ホール	34		
第3回	11/2	北とぴあ飛鳥ホール	27		
第4回	1/22	北とぴあ飛鳥ホール	29		
合計			121		

令和2年度福祉のしごと総合フェアにて求人ブース出展を予定していた法人(順不同)

第1回(6/26)

法人名	事業種別
社会福祉法人晴山会	高齢
東京福祉サービス株式会社	高齢
株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社やさしい手	高齢
社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
医療法人社団中央白報会	高齢
SOMPO ケア株式会社	高齢
株式会社ケアネット・トキ	高齢
社会福祉法人ゆうゆう	保育
ケアウェル安心株式会社	高齢
宝ケア株式会社	高齢
株式会社日本デイケアセンター	高齢
株式会社京北健友会	高齢
株式会社 fes パートナース	保育
株式会社日本ケアリンク	高齢
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
株式会社ケア21	高齢
一般社団法人ゆうひが丘	保育
社会福祉法人東京都福祉事業協会	高齢
社会福祉法人労働者クラブ	保育
株式会社ハンドベル・ケア	高齢
株式会社ひばりケア	高齢

社会福祉法人茂原高師保育園	保育
社会福祉法人泉陽会	高齢
社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
アースサポート株式会社	高齢
社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	障がい
医療法人社団博栄会	高齢
社会福祉法人あゆみ	障がい
社会福祉法人うらら	高齢

第2回(8/24)

法人名	事業種別
株式会社やさしい手	高齢
社会福祉法人ウエルガーデン	高齢
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
株式会社日本デイケアセンター	保育
社会福祉法人うらら	高齢
社会福祉法人茂原高師保育園	保育
社会福祉法人流山中央福祉会	保育
社会福祉法人ゆうゆう	保育
株式会社ポピンズ	保育
株式会社日本ケアリンク	高齢
社会福祉法人新栄会	高齢
社会福祉法人晴山会	高齢
株式会社京北健友会	高齢
株式会社ケアネット・トキ	高齢
株式会社ひばりケア	高齢
医療法人社団博栄会	高齢
株式会社三英堂商事	高齢
宝ケア株式会社	高齢
株式会社チャイルド・スマイル	保育
社会福祉法人あゆみ	障がい
アースサポート株式会社	高齢
社会福祉法人大和学園福祉会	保育
社会福祉法人こうほうえん	高齢
東京ふれあい医療生活協同組合	高齢

東京福祉サービス株式会社	高齢
株式会社さくらいふ	保育
医療法人社団はなぶさ	高齢
アサヒサンクリーン株式会社	高齢
株式会社矢嶋商店	高齢
セントケア東京株式会社	高齢
株式会社マミーズファミリー	保育

第3回 (11/2)

法人名	事業種別
株式会社やさしい手	高齢
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
株式会社 fes パートナーズ	保育
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
社会福祉法人ドリームヴィ	障がい
株式会社日本デイケアセンター	保育
社会福祉法人うらら	高齢
社会福祉法人茂原高師保育園	保育
社会福祉法人ゆうゆう	保育
株式会社ポピンズ	保育
株式会社日本ケアリンク	高齢
社会福祉法人新栄会	高齢
社会福祉法人晴山会	高齢
株式会社京北健友会	高齢
株式会社ケアネット・トキ	高齢
医療法人社団博栄会	高齢
宝ケア株式会社	高齢
アースサポート株式会社	高齢
社会福祉法人こうほうえん	高齢
東京ふれあい医療生活協同組合	高齢
東京福祉サービス株式会社	高齢
株式会社さくらいふ	保育
株式会社 YOU 優 CARE	高齢
株式会社矢嶋商店	高齢
セントケア東京株式会社	高齢
SOMPO ケア株式会社	高齢

第4回 (1/22)

法人名	事業種別
株式会社やさしい手	高齢
東京ほくと医療生活協同組合	高齢
株式会社 fes パートナーズ	保育
医療法人社団福寿会	高齢
株式会社大起エンゼルヘルプ	高齢
社会福祉法人ドリームヴィイ	障がい
株式会社日本デイケアセンター	保育
社会福祉法人うらら	高齢
社会福祉法人茂原高師保育園	保育
社会福祉法人絆友会	保育
社会福祉法人ゆうゆう	保育
株式会社ポピンズ	保育
株式会社日本ケアリンク	高齢
社会福祉法人新栄会	高齢
社会福祉法人晴山会	高齢
株式会社京北健友会	高齢
株式会社ケアネット・トキ	高齢
医療法人社団博栄会	高齢
宝ケア株式会社	高齢
アースサポート株式会社 (10/6 多田野様より辞退の旨事前連絡あり)	高齢
社会福祉法人こうほうえん	高齢
株式会社ケア21	高齢
東京ふれあい医療生活協同組合	高齢
東京福祉サービス株式会社	高齢
株式会社さくらいふ	保育
株式会社矢嶋商店	高齢
セントケア東京株式会社	高齢
SOMPO ケア株式会社	高齢
株式会社マミーズファミリー	保育

② 福祉事業者向け研修会(北区から受託)

福祉事業所の職員定着化支援のため、職場定着や職員のスキル向上のための研修会を行った。

(人)

No.	研修名	開催日	会場	参加人数
1	相手の「不満」を「ありがとう」に変える！ クレーム対応研修	8/20	岸町ふれあい館第5集会室	30
2	「伝える」を「伝わる」に変える 説明力向上 のためのコミュニケーション研修	9/2	岸町ふれあい館第5集会室	18
3	いまさら聞けない「ビジネス文書 基礎の基礎」研修	10/21	岸町ふれあい館第5集会室	20
4	取り組むなら今！ハラスメント防止研修	11/11	岸町ふれあい館第5集会室	10
5	後輩を伸ばす褒め方・叱り方(コーチング) 研修	12/16	岸町ふれあい館第5集会室	20
6	「SOSに気づいたら？」知っておきたいメンタルヘルス研修 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により 中止	2/3	岸町ふれあい館第5集会室	- (参加 予定 人数 19)
合計				98
(カッコ内は令和元年度実績)				(194)

③ 実習生等の受入

No.	実習名	実施日	学校名・団体名
1	公的機関見学(実習)		受入なし
2	新任職員現場実習		受入なし
3	社会福祉士相談援助技術実習	8/4~3/4 (24日間)	浦和大学、東京家政大学より 1名ずつ受入(計2名)
4	障がい者就労体験		受入なし

④ 社会福祉法人との連携

ア. 社会福祉法人部会

社会福祉法人による地域公益活動の取り組みを推進するため平成 28 年度に設置した社会福祉法人部会において、以下の取り組みを実施した。

A. 社会福祉法人部会合同研修の開催

社会福祉法人はもとより、町会・自治会や民生委員・児童委員、福祉関係団体や行政など、福祉のまちづくりに関わる方々と交流を図ることを目的とし、防災をテーマに「北区災害ネットワーク研修」を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

開催予定日	開催予定内容	参加申込人数 (12/17 時点)
1/20	基調講演、グループワーク、その他防災への備えや災害時における実際の動き、平時でのネットワークづくりなど	120

B. 社会福祉法人部会幹事会

今後の社会福祉法人部会をより円滑に運営していくため、以下のとおり幹事会を開催した。

開催日		内容
9/4	幹事会	今年度の部会運営について
10/9	幹事会	社会福祉法人部会主催「北区災害ネットワーク研修」の開催について
12/4	幹事会	社会福祉法人部会主催「北区災害ネットワーク研修」の開催について (当日の役割分担等の確認)

イ. 桐ヶ丘サロンあかしやの支援

誰でもふらっと立ち寄れる居場所・交流・出会いの場として、(福)ドリームヴィ、(福)東京聖労院、北社協が協力して、住民主体で運営することを大切にしながら、地域支援ネットワーク事業として運営している。

※運営支援の詳細については 2. 地域福祉事業サービス区分関連事業にある CSW の活動報告を参照。
(P23)

(4) 災害対応に関する事業

① 災害時相互支援協定に基づく活動

ア. 北区及びNPO 法人東京都北区市民活動推進機構との協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：10/2、12/17、2/3、3/2）

内容	北区災害ボランティア事業に関する協議
会場	北区 NPO・ボランティアふらざ／オンライン会議
参加者数(人)	10/2:8 12/17:8 2/3:8 3/2:7

イ. 城北ブロック協定に基づく活動

A. 連絡会議の実施（実施日：9/2、10/2、11/6、12/24、2/2）

内容	年間活動計画に関する協議等
会場	オンラインおよび文京区社会福祉協議会ほか
参加者数(人)	9/2:17 10/2:17 11/6:7 12/24:16 2/2:17

B. 城北ブロック災害連携講座の開催（開催日：2/17）

内容	コロナ禍における災害支援のかたち ～災害支援協定先・支援活動団体を招いて～
会場	オンライン
参加者数(人)	52

ウ. いわき市社協および前橋市社協との協定に基づく活動

電話、メールを活用し、コロナ禍における事業運営等について情報交換を行った。

また、上記「城北ブロック災害連携講座」に両社協が参加し、いわき市社協からは課題共有の報告も行われた。

② 防災関連会議、イベント等への参加

開催日	内容	参加人数(人)
11/22	東京都・北区合同総合防災訓練への参加	3

③ 訓練等の実施

開催日	内容	備考	参加人数(人)
7/21	災害職員研修（北社協備蓄品の確認、使用方法説明）	内部研修	6
3/11	シェイクアウト訓練	内部訓練	50

④ スタッフ養成研修等への参加

実施日	内容	参加者数(人)
7/1	災害ボランティア養成講座運営者コース ※オンライン	2
8/6・20・9/3	災害ボランティア養成講座運営者コース ～技術系専門ボランティア団体との連携を学ぶ～ ※オンライン	1

(5) 岸町ふれあい館の運営（北区から受託）

館内施設名	区分	年間合計
第1集会室（定員21人）	利用件数（件）	428
	利用人数（人）	3,004
	利用率（%）	41.1
第2集会室（定員45人）	利用件数（件）	333
	利用人数（人）	4,650
	利用率（%）	32.0
第3集会室（定員24人） 高齢者コーナー	利用件数（件）	1
	利用人数（人）	10
	利用率（%）	0.3
和室（定員12人） 高齢者コーナー	利用件数（件）	134
	利用人数（人）	1,213
	利用率（%）	38.6
第5集会室（定員108人）	利用件数（件）	147
	利用人数（人）	8,071
	利用率（%）	14.1

* 集会室の定員は、テーブル使用時の人数

* 集会室の貸出は午前、午後、夜間の3コマで、それぞれ利用1件とカウントする（1日最高計3件）
ただし、第3集会室及び和室は、午前・午後は高齢者コーナーとして使用しているため、一般貸出は夜間の1コマのみ

* 利用率＝利用件数／総貸出可能コマ数

【新型コロナウイルス感染拡大の影響によるふれあい館運営への影響】

①一般貸出の際の使用制限等

②北区・北社協による占有（用途・期間）

館内施設名	用途	期間
第3集会室（定員21人）	生活福祉資金緊急小口資金特例貸付・ 住居確保給付金等受付控室	4/20～6/30
	生活福祉資金緊急小口資金特例貸付・ 住居確保給付金等受付窓口特設会場	7/1～3/31
第5集会室（定員108人）	生活福祉資金緊急小口資金特例貸付・ 住居確保給付金等受付窓口特設会場	4/20～6/30
	北区役所庁用会議室（総務課管理）	9/1～現在※

※令和3年度も引き続き北区役所庁用会議室として利用予定。

2. 地域福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費4,881千円、人件費38,268千円)

(1) 地域福祉ネットワーク事業 (4,713千円)

①コミュニティソーシャルワーク

(ア) 神谷・東十条地区の取り組み

(A) 地域アセスメント

- (a) 地域情報シート作成、更新
- (b) 各町会自治会活動ヒアリング
- (c) ささえあい団体活動ヒアリング

ヒアリング・アセスメント：219件

(d) 圏域内サロン交流会の実施

開催日	令和2年11月30日（月）
参加者	圏域地域活動団体（7団体）（9名）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響における各生活圏域での状況の変化の共有 ・各活動団体の進捗状況、感染対応方法、活動の工夫の情報共有 ・フレイル予防啓発、工夫した活動実施に向けたきっかけづくり
意見（一部）	<ul style="list-style-type: none"> ・神谷地区は緊急事態宣言中に大型スーパー（イオン）が休業したことの影響が大きい。買い物に困ったとの意見が多く聞かれる。 ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーとして第三波になり本当にコロナが近くまで迫ってきているという感覚。利用者、その家族の感染、濃厚接触者になったとの話も聞かれるようになった。 ・デイサービスをお休みしている方も多く、サロンに行っておしゃべりしたいと話す人が多い。 ・買い物等でたまたま会ったときにするおしゃべりが楽しい。 ・感染することだけでなく、家に引きこもることの影響も心配。 ・見守りが必要な方が多くなってきて感じており、資料や手紙の配布、電話など具体的な見守りの手法を教えてほしい。 ※暑中見舞い、マンション内ではポスティングも積極的に実施、脳トレの資料をポストに入れることもある。町会の掲示板を利用し住民とやり取りをしている団体もあると情報を共有 ・町会、自治会の動きがとまっているのでなかなか再開できない。 ・他の活動団体はどのように感染予防しているのか知りたい。 ※東京都健康長寿医療センターの「通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド」を参考に団体でルールを決め実施していると意見を共有。 ・自粛期間を再開したときの準備期間として捉えている。新たなボランティア発掘やボランティア間の意見交換会を実施している団体もある。 ・活動実施にむけて桐ヶ丘ぷらっとほ一むに体操を教わりに行った。 ・居場所は再開できていないが、電話などで見守り活動を行っている。 ・参加者の電話番号、住所を把握している団体はどの程度いるのか。 ※新型コロナウイルスが流行する前まで個人情報観点から電話番号など把握していないところが多い。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響下でも学生に間接的に関わってもらっている（オンラインサロン・資料作り）。

(B) 新たな仕組み作り（地域支援）

(a) 運営支援

i	名 称	神谷・東十条健康プラザ（居場所）
	活動内容	平成27年度に立上げ支援を行ない、地域の町会が主体となって運営する地域の居場所。4町会が協力し合いながら連携し運営している。調剤薬局の2階を借りてカラオケ、太極拳、折り紙サロンなど15のプログラムを行っている。
	コロナ禍の状況	緊急事態宣言中は活動を休止。宣言明けに再開に向けて各ボランティアが集まりフェイスシールド作りなどを実施。飲食がなく、短い時間で活動を行うことができる写経や太極拳、折り紙サロンなどは随時活動を再開。 麻雀やカラオケをツールにした活動については年間を通して活動を休止した。
	対応内容	感染予防方法の情報提供 再開に向けた打合せの設定、進行補助、活動目的の再確認・啓発
	活動回数	年間30回程度 / 参加者数：延べ196人 / 関わった回数:44回

ii	名 称	だんだん東十条（居場所）
	活動内容	平成27年度に実施した住民懇談会から展開した活動。平成29年1月にオープンした地域の居場所。ボランティアの強みを活かした歌や絵本の読み聞かせ、看護師による足ほぐしなど幅広い活動を展開。活動当初は高齢者あんしんセンターの会議室を利用し第1, 3水曜日、第2, 4月曜日に活動を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動場所、日程の変更を余儀なくされた。
	コロナ禍の状況	新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動場所としていた高齢者あんしんセンター会議室を利用する事ができなくなり、活動場所を探すところから再スタートする事となる。第1, 3水曜日は活動団体代表の自宅を活用し、第2, 4木曜日は新たな活動場所（神谷会館）で感染対策を行いつつ7月より活動を再開。これまで参加していた方をメインターゲットに見守りを目的とし短い時間で活動を再スタートした。再開に向けた打合せではこれまで関わってもらっていた看護師にもオンライン上で参加してもらい、感染予防方法、飲み物の提供についてアドバイスをもらいながら実施方法を模索した。
	対応内容	CSWとして圏域内で利用できる会場の案内。 感染予防方法の情報提供、団体としての感染予防ルール作りの支援を行なう。また大学生のボランティアとウェブで参加してもらおう等新たな地域住民と学生ボランティアのつながり方を模索した。
	活動回数	年間26回 / 参加者数：延べ288人 / 関わった回数:100回

iii	名 称 :	ラララかみや (居場所)
	活動内容 :	知的障がい者のグループホームで実施している住民主体の居場所。メインターゲットを孤立しがちな人と掲げ、住民間で十分につながる事ができていない人に積極的に声をかけていくことを目的とした活動グループ。 これまで定期的に東洋大学の学生ボランティアが関わり多世代交流の場にもなっていた。
	コロナ禍の状況 :	緊急事態宣言に伴い活動を休止。CSWと連携しつつ、新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動が自粛した際も参加者への声かけ、ボランティア間での情報共有を行なった。学生ボランティアとの新たなつながり方についても検討を重ね、ウェブで学生にも参加してもらい、感染予防をしつつ少人数でサロンを行う「ハイブリット式サロン」も実施した。
	対応内容 :	活動再開に向けた打合せの設定、進行補助 活動団体の感染予防ルール作り支援 大学生の新たな関わり方の模索 見守り活動の必要性啓発
	活動回数	年間5回 / 参加者数 : 延べ42人 / 関わった回数 : 55回

iv	名 称 :	花のれん (居場所)
	活動内容 :	東十条4丁目に焦点をあてて実施した住民懇談会からの展開で立ち上がった活動。居場所 (拠点) を設けることで地域住民のニーズを把握し別の活動 (ちょこっとサービス) に展開していこうとした矢先に新型コロナウイルス感染拡大の影響により自粛に至った。 毎月第一金曜日に町会会館を利用して地域の居場所として活動を行っていた。
	コロナ禍の状況 :	町会での活動が自粛となり、居場所の活動も休止することになる。町会掲示板を活用した参加者への働きかけなどボランティア間で積極的に連絡を取り合い参加者の見守りの意識を持ちつつも、悩みながら活動した一年であった。
	対応内容 :	再開に向けた打合せの設定・進行補助 居場所以外の見守り活動の情報提供・運営支援
	活動回数	関わった回数 : 21回

v	名 称 :	ぱぷりか (居場所)
	活動内容 :	圏域内で高齢化率が最も高い神谷三丁目の都営住宅の集会所を利用した取り組み。都営住宅の住民同士で互いに誘い合い、だれでも参加できる居場所として活動しているも緊急事態宣言に伴い活動を休止。
	コロナ禍の状況 :	自治会自体も高齢化が進んでおり、人が集まることへの不安が大きく活動再開がなかなかできない状況であった。 活動ができない間、桐ヶ丘ぷらっとほーむへ体操のレクチャーを受けに行き再開に向けてボランティアとしてのスキルアップの期間としていた。
	対応内容 :	団体ボランティアへの再アセスメント (再開の意向など) 再開に向けた打合せの設定・進行補助 ぷらっとほーむ等の情報提供
	活動回数	関わった回数 : 28回

(b) 立上げ支援

名 称	かにわ(居場所)
経 緯 等	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける前より傾聴を目的とした居場所の必要性について地域住民と共有しており、自粛期間が長引き、より一層話をする場の必要性を感じ感染予防を講じつつ活動を始めることとなった。 地域振興室長とも連携し、神谷区民センターの高齢福祉コーナーを利用した居場所として12月にプレオープン。1月は緊急事態宣言のため一旦休止するも2月からオープンすることとなった。
事前会議	9回
活動内容	居場所 月1回開催
活 動 日	毎月第3月曜日実施
活動回数	年間3回/参加者数：延べ23人/関わった回数：28回

(C) ケース対応（相談内容例）

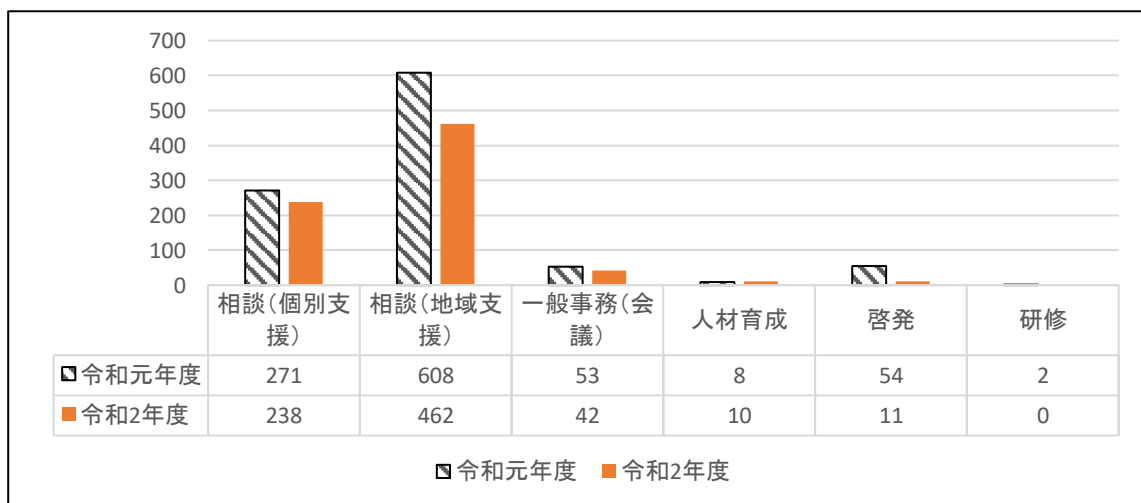
- ・都営住宅共有スペースで迷惑行為をされて困っている（ゴミ屋敷×近隣トラブル）
- ・バングラデシュ国籍の支援をしている団体などがあれば教えてほしい（外国籍）
- ・近隣住民の協力者として本人、支援者から色々サポートを依頼され困っている（視覚障害×苦情）
- ・サロン参加者がSNSで詐欺被害と思われる様子が見受けられる。一緒に関わってほしい
- ・ターミナルケアを受けている方のサロン参加について相談にのってほしい
- ・郵便局に何度も同じ内容で来所している人がいる（認知症×搾取の疑い）

(D) 広報活動

- ・Facebookでの取り組み内容発信
 - ・地域活動団体・事業所への挨拶
 - ・自治会理事会参加
- ※広報備品：チラシ、ポスター、パネル（A1サイズ）

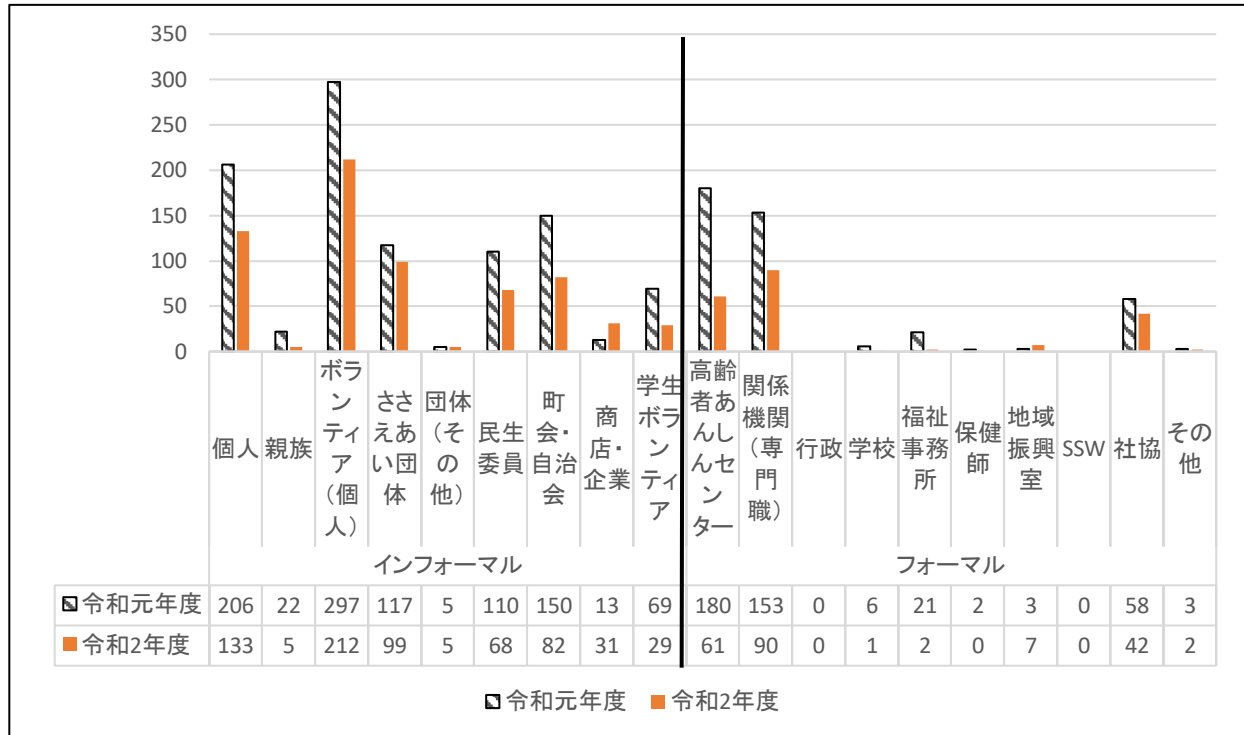
(E) 行動記録（神谷・東十条地区担当）

(a) 活動内容及び件数



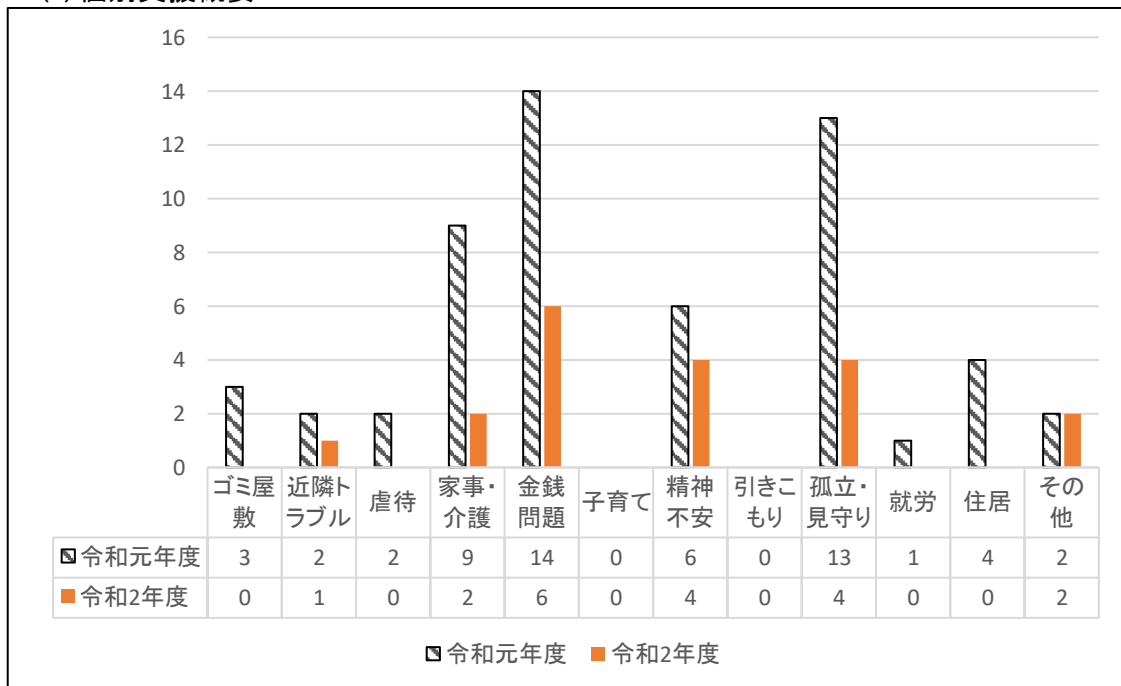
緊急事態宣言中はほとんど地域への働きかけが難しかったため地域支援の件数が減少している。
個別支援については新規相談は多くなかったものの昨年より働きかけている相談対応がありほぼ同じ件数であった。

(b) 相手方別（全体）



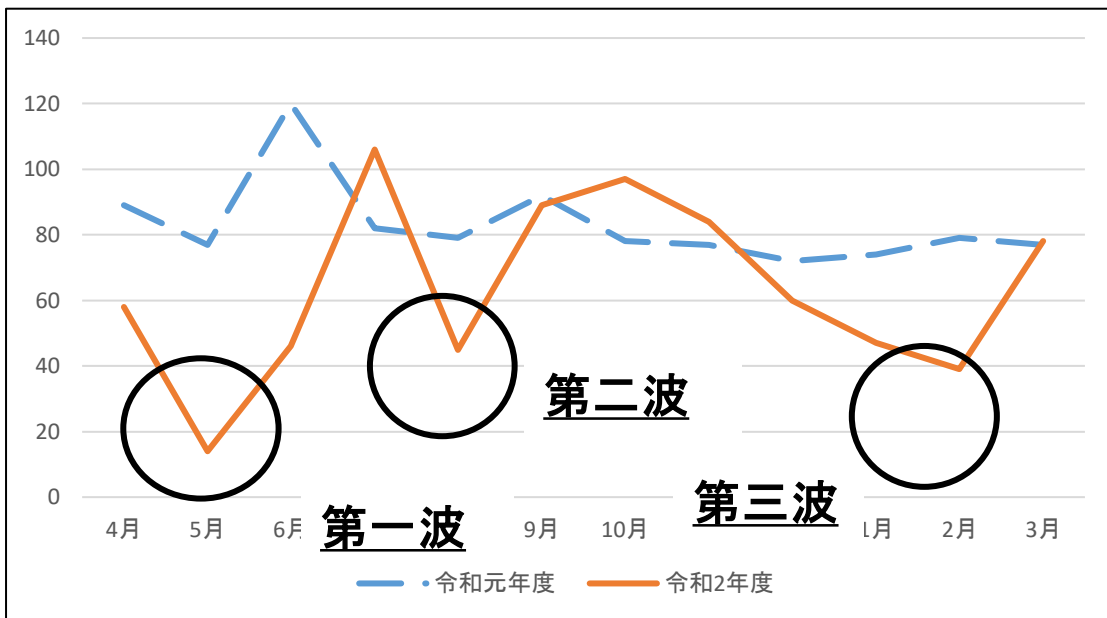
令和元年度と比較し全体的に活動件数自体が少ないため、相談件数も減少している。その中で昨年同様個別にサロンへの関わりについて働きかけていることからボランティア（個人）への関りが多くなっている。
個別支援において企業とのやり取りがあったため、昨年度より商店、企業との関わりが増加している。

(c) 個別支援概要



個別支援対応件数は昨年とほぼ同じ件数であったが、新規相談は全体的に減少した。
地域の居場所等での相談がいくつかあったが、地域住民と接する機会自体が減ったことも件数が減少した要因の一つと考えられる。

(d) 月別活動件数



昨年4月に緊急事態宣言が発出され、4月～6月まで社協事務局として特例貸付応援対応によりCSW業務を実質行うことができなかった。
そのため特に5月は件数が少なくその後7月まで活動再開支援で働きかけるも第2波により8月に再度件数が減少している。

(イ) 桐ヶ丘地区の取り組み

(A) 地域アセスメント

(a) 地域情報シート作成、更新

- ・ 桐ヶ丘地区防災訓練
- ・ ぷらっとほーむまつり打ち合わせ会
- ・ ぷらっとほーむ桐ヶ丘自主グループ交流会

(b) 自治会・ささえあい団体等からのアセスメント・ヒアリング

65件

(c) 地域ネットワーク強化のための活動

i 名称	JKK桐ヶ丘担当との連携会議
開催日	8/17
参加者	JKK地区担当・やまぶき荘高齢者あんしんセンター
ねらい	今年度より桐ヶ丘地域のJKK担当者が交代。それに伴い、困難ケースへのアプローチや訪問への協力、ケースの引継ぎなどの連携について具体的に事例を出し合いながら連携会議を行った。

ii	名 称	桐ヶ丘27夢みらアンケート実施
	開催日	9/13
	参加者	24名
	ねらい	10年ほど活動していたささえあい団体が、高齢化を理由に解散。孤立の防止や今後の活動につなげていくために参加者にアンケートを実施し次の活動につなげるための準備とした。

iii	名 称	桐ヶ丘地区社会福祉法人連絡会
	開催日	3/5
	参加者	18名
	ねらい	桐ヶ丘地区には9法人13施設の社会福祉法人がある。そのうち3法人で「桐ヶ丘サロンあかしゃ」を共同運営していたが、それがプラスに働いていることを実感。そのため「桐ヶ丘地区」と範囲を広げ、顔の見える関係を作り今後の連携を強化するために開催した。

(B) 新たな仕組み作り（地域支援）

(a) 運営支援

i	名 称	桐ヶ丘サロンあかしゃ（居場所）
	活動内容	月～金曜日に開所するフリースペース・地域活動の拠点
	コロナ禍の状況	フリースペースとして運営していたが4月の緊急事態宣言とともに休止。その後話し合いや衛生対策を講じ9月より緩やかに再開。現在は長屋の空いている水・木・金のお昼のみ、距離を取って昼食を食べられる場として開けている。
	対応内容	事務局会議にて、衛生対策やルール決めなどを検討。また朝活などの地域活動の拠点として活用
	活動回数	年間103回／利用者数（屋外含めて）：延べ276人

ii	名 称	桐ヶ丘式朝活プロジェクト（体操・食事・社会参加）
	活動内容	毎週火曜日9時～ 体操+朝食+社会参加の3本柱を活動
	コロナ禍の状況	緊急事態宣言に伴い、朝食を中止し体操のみ活動。感染者数が落ち着いてきたのを見計らい「もう少し地域交流や外に出るきっかけを作れないか」という話し合いを3回開催。9月より体操後「あかしゃかよう朝市」として、手作りマスクの販売や自主活動グループによるフリーマーケットの販売などを行う。
	対応内容	話し合いの広報・ファシリテーター。通常活動の後方支援。学生に参加してもらえるように働きかけ。自主グループへ声をかけ新規参加の取りまとめ
	活動回数	年間46回／参加者数：延べ1,014人

iii	名 称	畑活
	活動内容	定例で行う全体活動は第1金曜日。やまぶき荘・大橋病院の敷地を利用した土いじり活動。
	コロナ禍の状況	緊急事態宣言に伴い、室内でのミーティングは難しくなったが自主活動は継続。また活動日のきっかけを作るために、朝活（毎週火曜日）と連動し、朝活後に畑活に流れる動きもできた。今年度は大橋病院をハーブ園にするなど、参加者の提案により自主活動も広がっている。
	対応内容	活動継続に向けてのルールづくり会議・活動支援・参加者の提案を実現できるよう後方サポート・記録
	活動回数	年間11回／参加者数：延べ75人

iv	名 称	みんなの夕はん処（多世代交流・食事）
	活動内容	2か月に1回地域食堂の開催・子供たちに向けてのイベント
	コロナ禍の状況	3月より食事会を中止。再開の話し合いを何度も重ねるも、飲食によるリスクが高いことから断念。その代わり地域からの寄付の米やおかず、雑貨などを予約した子供たちに配る「おたのしみ配布会」を2回開催。
	対応内容	活動再開に向けての会議（ファシリテーター）・配布会に向けての協力者との会議・準備会も含めた活動支援・広報
	活動回数	打合せ回数：23回/配布会開催数：2回/配布数：延べ115人

(b) 立ち上げ支援

i	名 称	桐ヶ丘地区協議体
	経緯等	今までは「あかしゃ運営委員会」という名で、地域で活躍する自治会や団体と2か月に1回会議を行ってきた。徐々にあかしゃから派生した活動が広がる中で、あかしゃの活動以外のテーマや活動報告が行われることが多くなってきた。 地域づくりに熱意のあるメンバーも多かったため、運営委員会を「桐ヶ丘地域協議体」と名称を変え、参加者も各分野ごとにバランスよく依頼し、メンバーの横のつながりを強化し、桐ヶ丘地域の課題についてみんなで話し合える場を作ることになった。
	活動内容	各団体の活動報告・テーマ別の話し合い
	活動日	令和3年度7月より年4回開催予定
	活動回数	準備打ち合わせ件数：5回/ 令和3年7月～立ち上げにむけ準備中

(C) ケース対応（相談内容例）

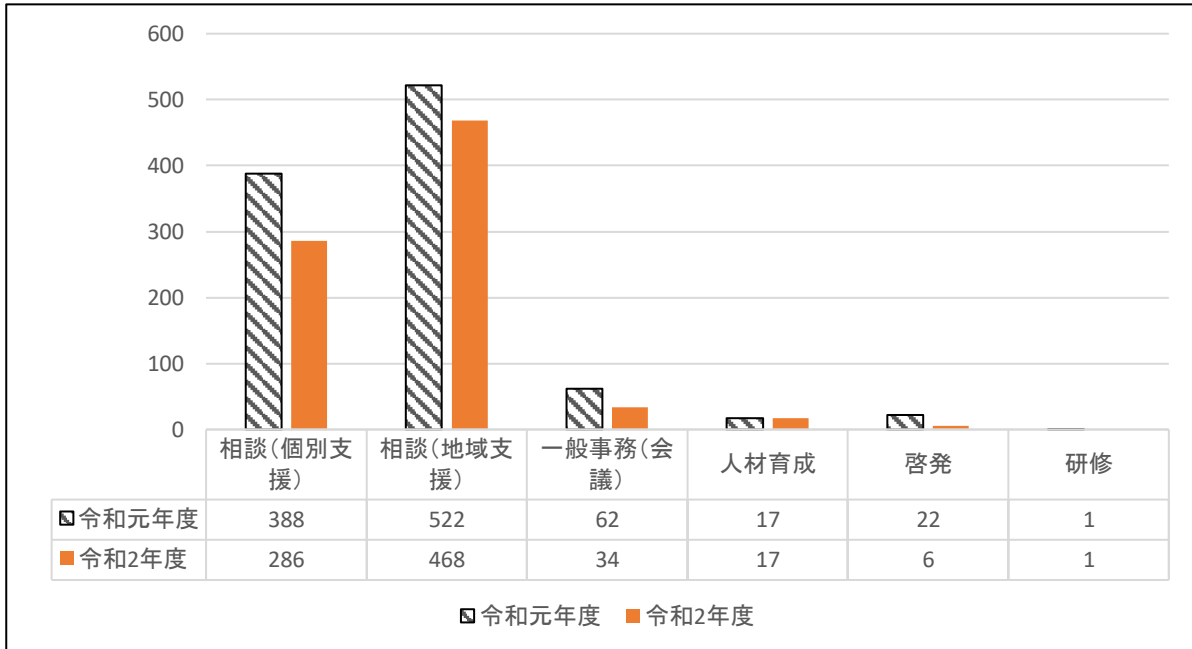
- ・以前から地域にいるホームレスの人がけがをしているようだ（近隣トラブル×孤立）
- ・引きこもりの親族がバイトをはじめたがコロナの影響ですぐクビになってしまった（精神不安×孤立×金銭管理）
- ・話し相手がないので出張で傾聴してほしい（孤立×高齢者）
- ・親が入所し高齢ではないが一人暮らしが難しい（8050×生活支援）
- ・本人もよくわかっていない契約を結んでいるようだ（権利擁護×見守り）
- ・外出をしたいが、変な人が家に入ってくる不安で外出できない（精神不安×孤立）

(D) 広報活動

- ・ Facebookでの活動報告
- ・ 北区町会・自治会連合会会長会参加
- ・ 地域活動団体・事業所への挨拶
- ・ 桐ヶ丘地区単位民協参加
- ・ 他地域からの視察対応
- ・ 桐ヶ丘通信（臨時号）の発行
- ・ 桐ヶ丘ぷらっとほーむにて「活躍応援窓口きりんち」としてCSW情報を掲示

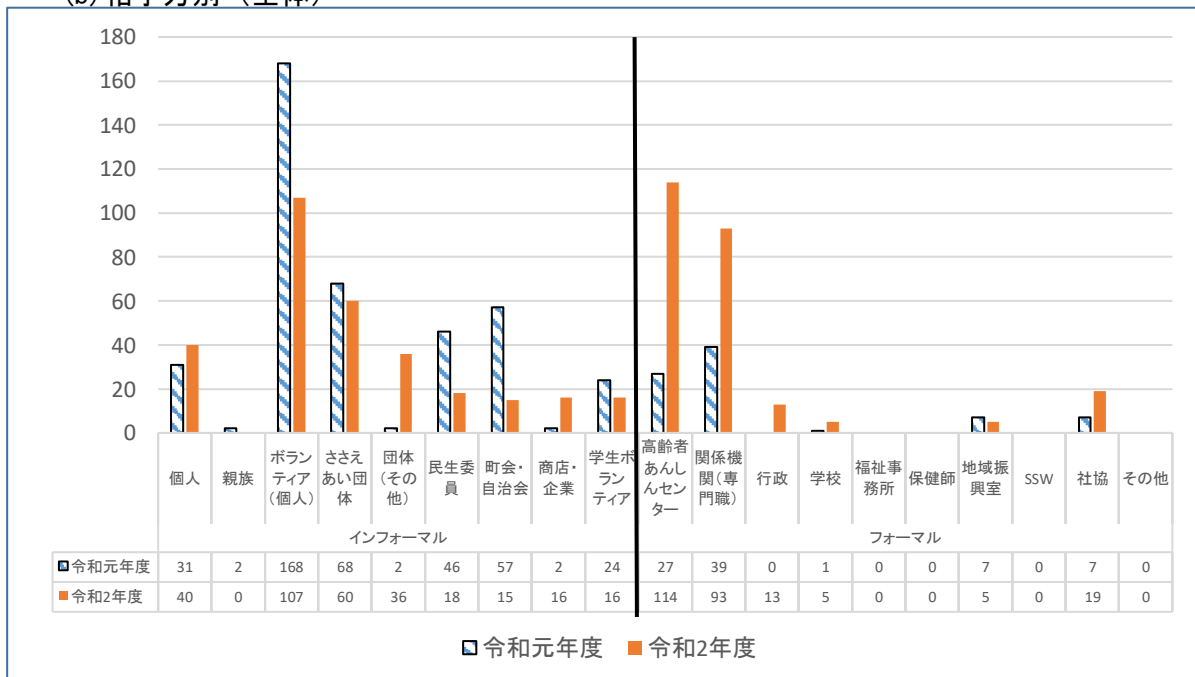
(E) 行動記録（桐ヶ丘地区担当）

(a) 活動内容及び件数



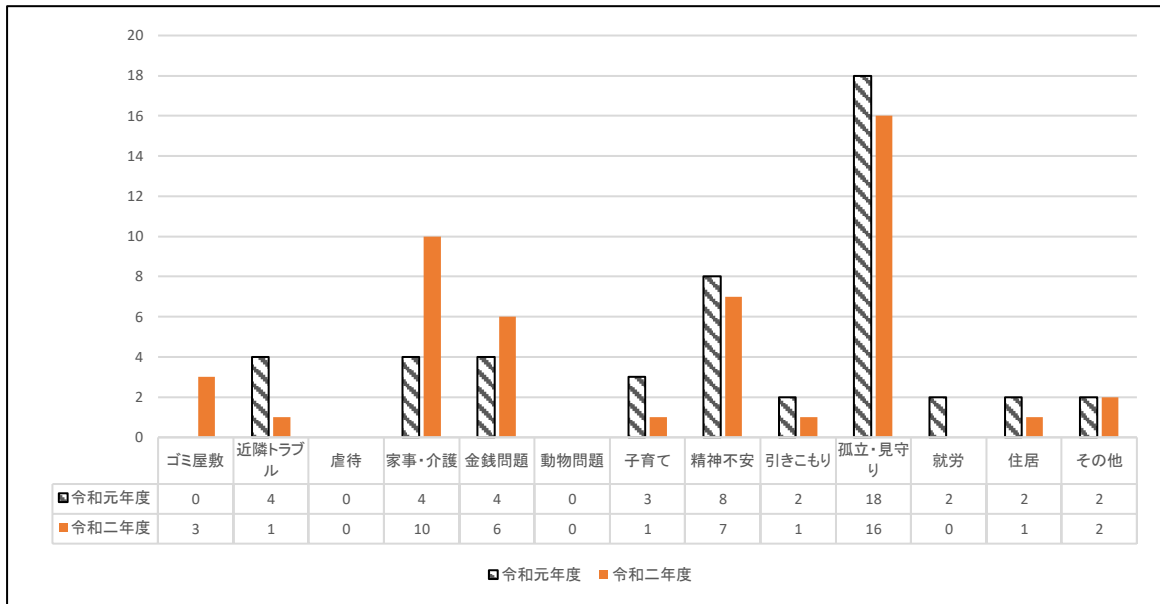
コロナの影響を受け昨年度よりは減少しているものの、年度後半は「コロナ禍でも活動できる方法」をみんなで話し合う機会も増えてきた。そのため活動全体では昨年度比で8割ほどの減少でとどまっている。

(b) 相手方別（全体）



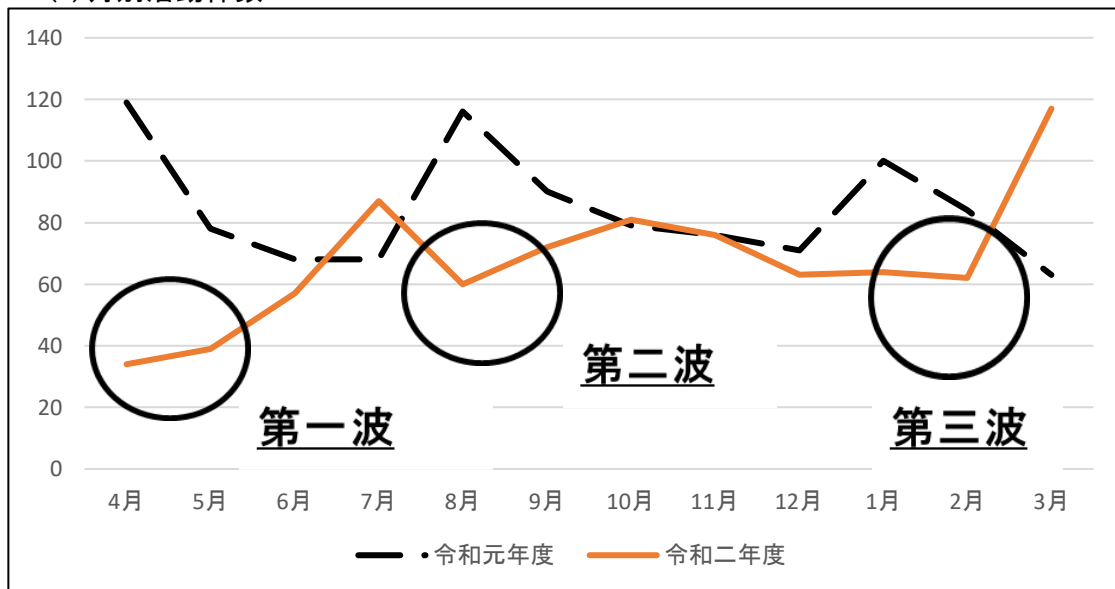
コロナ禍のため、現在の状況を確認するためのアセスメントの数が圧倒的に多い。ボランティア活動支援は再開に向けての支援など、アセスメントの上でフォローした活動が反映されている。

(c) 個別支援概要



地域のボランティア等インフォーマルにかかわってる方々からの相談が減少、逆に高齢者あんしんセンター等公的機関からの相談が増えている。インフォーマルからの相談の減少には、緊急事態宣言を受けての不要不急の外出の禁止によりサロンの中止や街なかで会った際の情報収集などが減少したことが影響していると考えられる。

(d) 月別活動件数



4・5月の緊急事態宣言後は、どのような形で地域活動を再開させるかという相談が増え、昨年度と遜色ない活動件数の月も多い。特に3月は新年度の活動について、いかに注意をしながら活動再開できるかという相談が増加している。

②サロン縁じょい田端駅通り商店街（愛称：谷田橋サロン）の開催

(ア) 開催回数：60回

(イ) 参加人数：平均6人／1回 年間合計490人

(ウ) ボランティア、協力者数：平均3人／1回 年間合計120人

(エ) 運営について

運営委員会を設置し、毎月1回の委員会にて具体的な企画や運営等について検討。

緊急事態宣言中を除いて毎月第2金曜日午後4時半～6時半に開催してきた。

【コロナ禍の対応】地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として北社協が田端駅通り商店街振興組合と共同設置し、地域住民や関係機関と共に運営。ボランティアグループによるカフェサロン、運営委員による企画（子育てサロン、体操、ひきこもり当事者・家族の会等）を毎週月・水・金に開催。

令和2年2月から、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、サロンの開催を中止。6月・7月に感染者数が減少したため、再開に向け運営メンバーで話し合いを実施。「みんなにとってどんな場所なのか」「活動を継続する理由は？」「お客さんもボランティアも安心できる方法は？」「感染予防の伝え方は？」など、意見交換を行った。

8月から再開のプレオープン企画を実施し、利用者の声から地域の居場所として根付いていることを改めて認識する機会となった。また運営メンバーからの自発的なアイディアとして、サロン参加者がつくる「みんなでつくろう 谷田橋川柳」や、谷田橋サロン窓に季節の装飾を施すといった活動がうまれた。

③志茂地区小地域福祉活動拠点（愛称：しもぞうハウス）の運営

地域住民の孤立防止、問題の早期発見、担い手発掘を目的として北社協が地域住民や関係機関と連携しながら運営している拠点である。主に「多世代共生および地域の交流・助け合い」を目的として、だれでも集える居場所やサロン、会議・勉強会等の活動を行う団体に対する貸出し事業を行っている。

(ア) 利用登録団体数：13団体

(イ) 開所日数：82日（団体への貸出日）

(ウ) 利用人数：年間合計434人（ボランティア：383人、来場者：51人）

(エ) 運営について

志茂地区で活動している「志茂ジェネ協議会」等の地域団体からご協力をいただきながら運営を行っている。具体的な協力内容としては運営全般に関する提案、拠点開所および来客対応など。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響でどなたでも利用できる「しもぞうカフェ」は休止し、登録団体への貸し出しのみ行った。登録団体に関しては増減なし。

④第1層生活支援コーディネーター（北区から受託）

（ア）地域の社会資源把握に関すること

No.	研修名	支援日(開催日)	内容	役割
1	地域情報見える化サイト「ミルモネット」操作研修（昨年度未受講の包括職員向け）	11/20（オンラインにて開催） 打ち合わせ：9/29, 11/9	ミルモネットの概要、操作説明、質疑応答 参加者24名	・関係者との事前打ち合わせ ・対象者への周知、受付 ・当日運営

（イ）生活支援の担い手養成、サービス開発に関する相談支援

No	地域（センター名）	団体名 （プロジェクト名）	支援日及び内容
1	みずべの苑	志茂ジェネ協議会	協議体開催日：07/29, 10/2, 12/3, 3/31 ・感染症対策、当日運営の後方支援 ・コロナ禍での地域課題・ニーズの再確認 ・イベント企画の助言、場所の提供（しずらハウス）
2	赤羽北、桐ヶ丘	赤北3さんミーティング	打ち合わせ：10/15 ・担当者間での打合せ ・第2層のコーディネーターへの後方支援（協議体参加者への現状確認等）
3	赤羽北	赤北マルシェ	新型コロナウイルス感染拡大の影響でマルシェの開催はできず ・第2層のコーディネーターへの後方支援（主催者への現状確認等）
4	赤羽	しゅりる（大学生による地域活動）	団体活動日：10/28, 11/25, 12/16, 3/31 打ち合わせ：9/1, 9/29, 1/22, 2/12 ・感染症対策、当日運営等について活動団体へ直接支援 ・第2層のコーディネーターへの後方支援（今後どのように協議体が発展させていくか等）
5	昭和町・堀船	住んで良かった堀船プロジェクト	協議体開催日：6/24, 11/17 ・コロナ禍での地域課題・ニーズの再確認 ・第2層のコーディネーターへの後方支援（今後どのような取り組みに発展させていくか等）
6	昭和町・堀船	上中里貝塚町会	新型コロナウイルス感染拡大の影響で協議体の開催はできず ・第2層のコーディネーターへの後方支援（協議体参加者への現状確認等）

(ウ) 地域包括ケア連絡会（第2層協議体）及び地域ケア個別会議に関すること

<地域包括ケア連絡会>

【3圏域主催】

No.	地域	支援日(連絡会開催日)	役割
1	王子圏域	9/30	感染症対策、設営、受付、運営支援
2	赤羽圏域	11/17	感染症対策、設営、受付、運営支援
3	滝野川圏域	11/11	感染症対策、設営、受付、運営支援

【各高齢者あんしんセンター主催】

No.	地域	支援日(連絡会開催日)	役割
1	飛鳥晴山苑	新型コロナウイルス感染拡大の影響で書面開催 打ち合わせ：1/12	テーマ選定等の企画についての助言
2	王子光照苑	11/20	参加者として

<地域ケア個別会議>

今年度は参加なし

(エ) 定例会議における情報交換、打合せ、検討

No.	会議名	開催日	内容
1	生活支援体制整備事業連絡会	6/23, 7/28, 8/25, 10/22, 11/24, 12/22, 3/4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動についての工夫 ・把握している社会資源情報の確認 ・ミルモネットの更新作業について ・地域包括ケア連絡会について ・各地域の課題および取組みについて
2	王子圏域見守りコーディネーター会議	6/12, 7/3, 8/4, 8/25, 9/9, 10/9	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源調査等の情報の整理 ・地域包括ケア連絡会について ・圏域同士の情報共有、地域課題の共有
3	赤羽圏域見守りコーディネーター会議	6/26, 7/31, 8/28, 9/25, 10/23, 12/25, 3/26	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源調査等の情報の整理 ・地域包括ケア連絡会について ・圏域同士の情報共有、地域課題の共有
4	滝野川圏域見守りコーディネーター会議	6/25, 8/4, 9/11, 9/24, 10/6, 10/23	<ul style="list-style-type: none"> ・社会資源調査等の情報の整理 ・地域包括ケア連絡会について ・圏域同士の情報共有、地域課題の共有
5	実務者レベル打合せ (毎月第3月曜日)	6/15, 8/13, 9/14, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/25, 3/15	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報見える化サイト「ミルモネット」について ・各地域での活動状況について ・生活支援体制整備事業の今後の方向性について ・おたがいさま地域創生会議について(会議の議題について) ・第2層コーディネーターに対する研修について
6	生活支援コーディネーター研修に関する打ち合わせ	6/15, 10/7, 11/9, 11/11	<ul style="list-style-type: none"> ・第2層コーディネーターに対するヒアリングから見えてきた課題の整理 ・関係者との企画・運営事前打ち合わせ ・感染症対策について

(オ) 北社協からの働きかけによる取組み

実施内容における、(A) 資源調査、(B) 資源開発、(C) ネットワーク構築、(D) ニーズと取組みのマッチング、(E) 協議体に関わる取組みとして実施

No.	取組み事業名	開催日	内容
1	ささえあい交流会		新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できず
2	体操等の自主グループ交流会 (ぷらっとほむ主催)	10/23, 10/27, 10/30, 11/2, 11/5, 11/9, 11/12, 11/19, 11/20, 11/21, 11/22, 11/24, 11/26, 11/30	各地域で実施。グループに分かれ、コロナ禍で工夫していること・課題に感じていることを共有。第2層コーディネーターは、団体との関係づくり、ニーズ把握、地域状況把握を目的として参加。

(カ) 生活支援コーディネーター研修実施に関すること

No.	日にち	研修名・講師	役割
1	7/28	生活支援コーディネーターの大切な役割・視点について 野中久美子氏、村山幸子氏（東京都健康長寿医療センター研究所）	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策 ・設営、受付、当日運営 ・写真、ビデオ撮影での記録
2	11/24	生活支援コーディネーターの役割と地域資源の活用について 野中久美子氏、渡邊彩氏（東京都健康長寿医療センター研究所）	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策 ・設営、受付、当日運営 ・写真撮影での記録

(キ) 地域の社会資源把握に関すること

第2層コーディネーターが把握している地域特性や課題、取り組み状況等を再確認することを目的にヒアリングを実施

No.	日時	高齢者あんしんセンター名	方法	役割
1	4/17	西が丘園	電話	地域の特徴を理解した上での2層コーディネーターの後方支援
2	4/22	浮間	電話	
3	4/22	みずべの苑	電話	
4	7/6	昭和町・堀船	訪問	
5	7/7	滝野川はくちょう	訪問	
6	7/14	王子	訪問	
7	7/15	新町光陽苑	訪問	
8	7/21	赤羽	訪問	
9	7/22	東十条・神谷	訪問	
10	7/27	飛鳥晴山苑	訪問	
11	7/29	桐ヶ丘やまぶき荘	訪問	
12	8/7	豊島	訪問	
13	8/11	十条台	訪問	
14	8/12	滝野川西	訪問	
15	8/20	赤羽北	訪問	
16	8/27	王子光照苑	訪問	
17	9/3	十条	訪問	

(ク) その他の取り組み

No.	項目	内容	役割
1	アイデア提案シートに関する打ち合わせ	高齢者あんしんセンターの視点から幅広いアイデアを募集し、北区版地域包括ケアシステムの推進につながる施策に反映することを目的に実施。	包括職員へのヒアリング、区担当者への報告
2	東京都社会福祉審議会視察受入れ	赤北3さんミーティングの実践報告（オンライン）	2層コーディネーターへのヒアリング、資料作成等
3	社会資源調査	新しい社会資源を確認するための訪問調査	2層コーディネーターへのつなぎ、訪問への同行
4	啓発資料作成および広報・啓発活動	訪問先や会議体等でチラシを活用し、生活支援コーディネーターの役割について広報・啓発を行う。	広報・啓発

(ケ) 研修、会議等への参加

No.	研修、会議名	開催日
1	生活支援体制整備事業に関わる情報交換会	9/7
2	区市区町村介護予防事業担当者向け研修（総論）	7/13
3	withコロナ×通いの場	8/18
4	地域包括ケア事例研究会	9/18
5	生活支援コーディネーター研究協議会	12/8
6	市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究会2021	2/23, 2/27, 2/28
7	介護予防事業事業者連絡会	9/24, 3/4
8	介護予防事業評価検討会	2/15

(2) 福祉教育・啓発事業 (100 千円)

本事業は、係横断の職員で編成する福祉学習プロジェクトチームが担当した。

① 事業内容

- ア. 小中学校にてヒアリングを行い、希望内容に合った福祉教育プログラムを実施。
- イ. 町会・自治会など地域の団体からの要請に応じ、体験プログラム等を実施。
- ウ. 福祉学習プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出。
- エ. 福祉学習についての広報。
- オ. 福祉教育・ボランティア学習プログラム開発等に係ること。

② 実績

ア. 福祉学習プログラムを実施した学校

(人)

No.	実施校	対象 (学年)	プログラム名	講師など	開催日	参加 者数
1	王子第五小学校	小4	高齢者疑似体験	十条高齢者あんしんセンター、 北社協職員	1/26	39
2	堀船小学校	小5	肢体不自由の理解	北社協職員	2/24	60
3	柳田小学校	小5	地域の理解 ～民生委員との交流を経て～	民生・児童委員 主任児童委員、 北社協職員	2/15	34
4	西ヶ原小学校	小4	肢体不自由の理解	北社協職員、 【車イスユーザー】	11/26	69
5	谷端小学校	小5	高齢者の理解	北社協職員	1/27	25
		小3	視覚障がいの理解	北社協職員、 【盲導犬ユーザー】	2/25	37
6	滝野川もみじ小学校 ⇒コロナウイルス緊急事態宣言のため中止	小3	障害者スポーツの理解	東京都障害者総合スポーツセンター		

イ. 福祉教育プログラムへの助言、当事者講師等の紹介、物品・教材等の貸出をした学校
実施なし。

ウ. 地域向けプログラム

実施なし。

③東京都ボランティア・市民活動センター

ア. 市民学習コーディネーター推進委員会 *協働研究地区として参加

No.	内 容	方法	開催日
1	子どもたちの市民学習を学校との協働ですすめていくキーパーソンの育成、連携する取り組みを検討する。	オンライン会議	10/29、12/11、 2/17

イ. 市民学習コーディネーター推進報告会

No.	内 容	方法	開催日
1	協働研究の一環として、当会で実施しているプロジェクトチームのプログラム内容と、助成を受けて実施した地域向け講座の報告をした。	オンライン会議	3/6

④ 広報

(回)

No.	内 容	回数
1	Facebook 掲載	3
2	きたふくし掲載	1
3	ふくし学習ニュース	1

(参考) プログラムの例 ※実施校の希望により内容変更あり

No.	内 容	プログラム
1	視覚障がい・見え方の違いの理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（アイマスク体験・ユニバーサルデザイン・スポーツ・ゲーム）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、グループワーク、まとめ（感想文）
2	補助犬の理解	当事者からの講話、補助犬法について（補助犬ユーザーってどんな人）、補助犬とのかかわり方、まとめ
3	肢体不自由の理解	車イス体験及び感想、当事者からの講話、まとめ
4	聴覚障がいの聞こえ方の理解	障がいのある人の普段の生活を知る、疑似体験（伝言ゲーム・DVD鑑賞など）、当事者からの講話（日常生活、児童・生徒に伝えたいこと）、まとめ（感想文）
5	高齢者の理解	高齢者疑似体験（聴力、視力、感覚の鈍さなど）、認知症サポーター養成講座の実施（北区高齢者あんしんセンターと共同）

6	地域ネットワーク	社協紹介 DVD 上映、パネルディスカッション（民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司など地域の支援者の役割を事例にて紹介）、まとめ
7	ユニバーサルデザイン、ゆるスポーツ、ユニバーサルスポーツ	ユニバーサルデザイングッズ紹介・体験、ユニバーサルスポーツ紹介・体験（サウンドテーブルテニス）、まとめ
8	地域課題の理解	民生委員・児童委員講話、グループワーク（皆が住みやすいまちってどんなまちだろう）、まとめ
9	多様性の理解	宝物交換ゲームを通して様々な価値観を知る（自分の宝物を友達に紹介する）、 グループワーク（みんなの宝物は何か、みんなが仲良く暮らすにはどうしたらよいか）、まとめ
10	募金について	寄付や募金とは何か、さまざまな種類、使われ方など

(3) 援護事業 (68千円)

① 災害見舞金支給事業

区内在住の火災等の被災者に対し、見舞金を支給する。

区 分	世帯等	(円)	(件)	(円)
		単価	件 数	金 額
火災見舞金	一般	5,000	1	5,000
	単身	3,000	10	30,000
	死亡	5,000	0	0
	小計		11	35,000
水害見舞金	一般	5,000	0	0
	単身	3,000	0	0
	小計		0	0
水損見舞金	一般	5,000	3	15,000
	単身	3,000	6	18,000
	小計		9	33,000
総 計			20	68,000

(4) その他の福祉事業

① 児童福祉事業

ア. ひとり親世帯応援事業

ひとり親家庭の孤立防止を目的とした当事者同士の交流、仲間づくり、親と子のコミュニケーション、情報提供の場を、イベントを通して提供する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止とした。

また、さまざまな事情により外出の機会が少ないひとり親世帯が、夏休みの思い出づくり、非日常の体験を通しての豊かな情緒を育むことを目的とした「夏休み親子バスハイク」についてもコロナ感染症予防の観点から中止とし、ひとり親世帯への情報提供、助成金、フードパントリー、寄付などの情報提供を行った。

A. ひとり親世帯レクリエーションイベント参加状況

イベント名	開催日	参加者数 (人)	行先	内 容
夏休み 親子バスハイク	中止	中止	中止	東京 2020 オリンピックの為、冬季開催の予定を立てていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止

B. ひとり親世帯当事者のグループづくりにつながる働きかけ

ひとり親世帯当事者のグループ形成につながる働きかけとして、自主グループづくりを進めてきた。令和2年度についても SNS 等を利用して情報を共有し、4月の花見会等も予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。その後もコアメンバー（希望者）による話し合いを行ったが、ユーザーである一人親家庭にとって、グループづくりに向けた話し合いが負担となる等、ニーズの低下がみられたため、自主グループづくりを断念することとなった。

イ. オレンジリボンキャンペーンへの協力

北児童相談所と北区子ども家庭支援センターが主催する、児童虐待防止の啓発活動「オレンジリボンキャンペーン」に協力し、商店街での啓発事業に参加した。

実施場所	実施日	内 容
十条銀座商店街	11/9	児童虐待防止月間の啓発グッズの配布。民生委員・児童委員も参加。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大学生のボランティアは参加せず、啓発資料、ノベルティの配布を中心に行った。
赤羽 LaLa ガーデン	11/11	

3. 在宅福祉事業サービス区分関連事業

(事務事業費15,977千円、人件費6,529千円)

(1) 友愛ホームサービス事業

(9,331千円)

地域の高齢者や障がいのある方などを対象に日常生活の簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し、指定の研修を受講した後、家事や外出付き添いなどのサービスを行う。

【利用料】 900円/時間 【年会費】 1,500円

① 会員登録状況

ア. サポートスタッフ (年代別内訳)

(人)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	今年度	昨年度	差異
男性	0	0	0	4	4	3	10	4	25	23	2
女性	0	0	6	16	30	40	50	10	152	144	8
今年度	0	0	6	20	34	43	60	14	177	167	10
昨年度	0	0	5	19	36	52	48	7	167		
差異	0	0	1	1	△ 2	△ 9	12	7	10		

イ. - (a) 利用会員 (年代別内訳)

(人)

区分	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	今年度	昨年度	差異
男性	0	0	0	0	1	6	12	28	45	10	102	99	3
女性	0	0	0	1	3	6	11	67	118	41	247	255	△ 8
今年度	0	0	0	1	4	12	23	95	163	51	349	354	△ 5
昨年度	0	0	0	4	3	11	26	85	164	61	354		
差異	0	0	0	△ 3	1	1	△ 3	10	△ 1	△ 10	△ 5		

イ. - (b) 利用会員 (対象別内訳)

(人)

区分	高齢者	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	高齢が・身体障	高齢が・精神障	高齢・知的障	高齢・精神障	身体が・知的障	身体が・精神障	難病	疾患	疾患・精神	ひとり親	その他	合計
人数	242	11	0	8	54	6	1	4	1	1	7	10	1	2	1	349
昨年度	233	12	1	7	71	6	0	4	1	1	7	7	1	2	1	354
差異	9	△ 1	△ 1	1	△ 17	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	△ 5

② 会員活動状況

ア. 年間活動状況

区	分	本年度	昨年度	差異
サポートスタッフ	年間活動数 (人)	790	1,034	△ 244
利用会員	新規利用数 (世帯)	138	137	1
	年間利用数 (世帯)	1,619	2,016	△ 397
延べ活動 (利用) 件数 (回)		4,679	6,623	△ 1944
延べ活動 (利用) 時間 (時間)		6353:00	9136:00	△ 2783

イ. 年間収支状況

区 分	本年度	昨年度	差異
年会費 (円)	625,500	582,000	43,500
内高齢者生活援助サービス (円)	337,500	309,000	28,500
利用料 (円)	5,728,670	8,252,100	△ 2,523,430
内高齢者生活援助サービス (円)	2,500,550	3,248,000	△ 747,450
費用弁償 (円)	5,728,670	8,252,100	△ 2,523,430

※高齢者生活援助サービス・・・友愛ホームサービス事業について、利用者の年会費・利用料の一部を区が補助する制度

ウ. 年間入会状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
新規入会(人)	17	7	15	16	15	14	13	11	9	9	6	6	138	137	1
年会費(円)	25,500	10,500	22,500	24,000	22,500	21,000	19,500	16,500	13,500	13,500	9,000	9,000	207,000	205,500	1,500
内高齢者生活援助サービス(円)	7,500	3,000	9,000	6,000	9,000	12,000	7,500	6,000	4,500	7,500	4,500	3,000	79,500	73,500	6,000

エ. 年間利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均	昨年度	差異
活動対象日数	21	18	22	21	20	20	22	19	19	18	18	23	241	241	0
(A) 日															
総活動・利用件数	161	164	436	508	478	544	572	540	523	195	197	369	4,687	6,623	△1,936
(B) 件															
1日当りの活動・利用件数	7.7	9.1	19.8	24.2		27.2	26.0	28.4	27.5	10.8	10.9	16.0	19.4	27.5	△8.1
(B/A) 件															
総活動・利用時間	218:00	230:40	597:40	659:20	638:40	720:40	790:40	741:00	713:40	276:00	264:20	502:20	6353:00	9136:00	△ 2783
(C) 時間															
1件当りの利用時間	1:21	1:24	1:22	1:17	1:20	1:19	1:22	1:22	1:21	1:24	1:20	1:21	1:21	1:22	△0:01
(C/B) 時間															
※スタッフ活動人数	58	42	74	79	72	71	72	76	76	58	52	60	790	1,034	△ 244
利用料 (円)	191,700	206,700	538,800	595,200	576,600	650,400	714,300	667,800	641,400	250,970	240,000	454,800	5,728,670	8,252,100	△2,523,430
内高齢者生活援助サービス(円)	103,000	111,700	234,750	254,750	241,200	273,650	292,900	281,700	272,150	126,600	117,950	190,200	2,500,550	3,248,000	△ 747,450
費用弁償 (円)	191,700	206,700	538,800	595,200	576,600	650,400	714,300	667,800	641,400	250,970	240,000	454,800	5,728,670	8,252,100	△2,523,430

オ. 提供したサービス (重複あり)

内容	件数(件)	構成比 (%)	昨年度 (件)	差異 (件)
外出付添	255	5.3	217	38
通院付添	221	4.6	379	△ 158
病院内付添	179	3.7	270	△ 91
入退院支援	3	0.1	7	△ 4
入院中生活支援	18	0.4	59	△ 41
家事援助	4,179	86.1	5,992	△ 1,813
通所・通学付添	0	0.0	1	△ 1
合計	4,855	100.0	6,925	△ 2,070

③ 研修会・交流会

研修会・交流会名	内 容	日数 (日)	開催日	参加延べ数 (人)
サポートスタッフ 養成研修	◇北区社会福祉協議会と友愛ホームサービス	3	11/13 ~11/25	76
	◇高齢者の理解と支援			
	◇車いす研修			
	◇リスクマネジメント			
	◇記録と報告 ほか			
サポートスタッフ ステップアップ研修	◇心も身体もセルフケア♪椅子ヨガプログラム	1	12/15	18
サポートスタッフ 交流会	◇サポートスタッフ同士、また友愛 担当職員との交流や意見交換 →新型コロナウイルス感染拡大の影響 により中止	/	12/15	/
合 計		4		94

④ 運営委員会

開催なし。書面にて令和2年度の状況について報告。

⑤ 出前講座

講座名	対象者	開催日	参加者数
医療連携会議	あんしんセンター、居宅支援事業所、MSW	1/21	19名

⑥ 職員研修・連絡会

研修名	開催日
令和2年度住民参加型たすけあい活動部会コーディネーター学習会	9/23 10/16 11/30
城北ブロック在宅福祉サービス事業連絡会	11/30
住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会	2/19
東京都在宅福祉サービス連絡協議会	3/29

⑦新型コロナウイルス感染症等の対応

月日	国の動向	友愛ホームサービス
4/7	7都府県に緊急事態宣言発令	
4/8		当面支援休止 ※代替手段のない買い物代行および薬取りのみ実施
4/24		5月以降の支援について文書発送 活動を行っているサポートスタッフへマスク発送 宣言明けも通常通りには戻さず回数を減らして活動
5/25	緊急事態宣言解除	
6/2	東京アラート発動	
6/15		感染予防文書発送／新規受け入れ再開
8/12		感染防止対策と熱中症予防の注意喚起文書発送
11/20	東京新規感染者増加に伴う警戒レベル上昇	
11/25		急を要する内容でない支援は休止 新規依頼に受け入れ休止
1/8	1都3県に緊急事態宣言	
1/12		当面支援休止 ※代替手段のない買い物代行および薬取りのみ実施
2/2	緊急事態宣言の延長	
2/8		一部支援の調整と再開。しかし支援を希望する連絡があった場合には、サポートスタッフ1日1支援、隔週または月1回の支援で調整
3/21	緊急事態宣言全面解除	
3/25		4月より順次再開

(2) ちょこっとささえ愛サービス事業

地域の高齢者の方や障がいのある方などを対象に30分以内でできる、単発的で簡単な手伝いをする住民参加型の有償在宅福祉サービスである。地域の方がサポートスタッフとして登録し行う。

【利用料】 500円/30分 【年会費】 なし

① 会員登録状況

ア. ちょこっとスタッフ（年代別内訳） (人)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	昨年度	差異
男性	0	0	0	1	3	6	8	1	19	20	-1
女性	0	0	1	2	18	13	12	1	47	53	-6
合計	0	0	1	3	21	19	20	2	66	73	-7

イ. 年間利用状況 (件)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度	差異
利用	0	0	2	1	2	2	7	3	6	0	3	2	28	38	-10

※同一利用者からの複数回利用あり

ウ. 提供したサービス（重複あり） (件)

内容	件数(件)	構成比(%)	昨年度	差異
電球・蛍光灯の取替え	5	16.7%	3	2
軽易な家具の移動	0	0.0%	5	△ 5
体調不良時の買い物代行	13	43.3%	16	△ 3
かんたんな家具の組み立て	4	13.3%	2	2
かんたんな家電の配線	1	3.3%	1	0
他サービス利用までのつなぎ等の理由による掃除	2	6.7%	11	△ 9
その他（ごみ捨て、不用品整理、退院支援など）	5	16.7%	12	△ 7
合計	30	100.0%	50	△ 20

※1回の活動に複数の支援内容あり

(3) 在宅福祉サービス事業

① おべんとご一緒サービス

平成26年11月より実施。地域で暮らす高齢者の孤立、福祉課題の早期発見と地域福祉の担い手作りが目的の事業。具体的には、ボランティアがお弁当を持って利用者宅に伺い、昼食を一緒にとりながら話し相手をする。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業実施を停止。利用者、ボランティア等へのヒアリングを通して、新たな孤立予防に対する社会資源開発を検討。

ア. 利用者数：4人

イ. 登録ボランティア数：49人

ウ. 活動実績：0回

② おべんとご一緒サロン（豊島高齢者あんしんセンターとの共催）

豊島5丁目団地わくわくステーションにて高齢者を対象としたお食事会を毎月2回開催

協力団体：傾聴クラブさんさん、傾聴クラブ「ハッピー」

新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止

(4) その他の在宅福祉事業 (6,645千円)

① ハンディキャブ運行事業

ア. 事業内容

A、ハンディキャブ（ワゴン車2台・軽ワゴン車1台）の運行及び貸出し

イ. 実績

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、公共交通機関の利用を控える方が多く、本事業の利用件数が増加した。

A、年間利用件数

区分	令和2年度		令和元年度	
	合計	平均/月	合計	平均/月
利用件数（件）	110	9.2	97	8.1
走行距離（km）	7,295	608	9,058	760

B、ハンディキャブ会員

本事業の独自会員制度を設置し利用者（会員）から会費を徴収

年会費	令和2年度		令和元年度	
	利用会員数	金額	利用会員数	金額
2,000円	24人	48,000円	36人	72,000円

② 車イス貸出事業

ア. 事業内容

A、車イスの無料貸出（1年間を限度）

B、地域の拠点での貸出し（ぶらっとほーむ）

イ. 実績

A、保有台数 57 台 (令和3年3月31日現在)

ウ. 年間貸出件数 (件)

区分	令和2年度		令和元年度	
	合計	平均/月	合計	平均/月
予約件数	116	9.7	156	13.0
貸出件数	105	8.8	137	11.4
貸出台数	124	10.3	148	12.3

③ 車イスステーション事業

歳末たすけあい募金を財源として車イスを購入し、町会・自治会や地域の公共施設、商店等身近なスポットで無料で車イスを借りられる「車イスステーション」を設置し、1週間程度の貸し出しを行うことで、区民の利便性の向上を図っている。

ア. 拠点数と台数

(台)

No.	区 分	令和2年度		令和元年度	
		設置箇所数	車イス台数	設置箇所数	車イス台数
1	町会・自治会	140	230	138	215
2	地域振興室	18	28	18	28
3	福祉施設等	11	17	9	13
4	高齢者あんしんセンター	12	29	12	29
5	その他（商店等）	6	7	4	4
	合 計	187	311	181	289

イ. 車イスステーションへの訪問

車イス利用状況確認、地域の福祉課題の発掘、地域情報収集

No.	訪問地域	訪問日
1	東十条・神谷	9/29
2	田端	10/19
3	王子	10/20
4	志茂	11/4
5	十条	11/9
6	東田端・西ヶ原・中里	11/27

④ 紙おむつ支給事業

介護保険の認定を受けた方で、要支援・要介護度1~3の方および急遽入院され常時紙おむつが必要な方に対して3ヵ月を限度に、歳末たすけあい・地域福祉募金を財源として紙おむつを支給する。

ア. 支給件数 (件)

	令和2年度	令和元年度
件数	335	338

イ. 支給枚数

(枚)

おむつタイプ	令和2年度	令和元年度
平型		420
テープパンツ型	3,619	3,049
はくパンツ型	54,736	52,729
尿取りパッド	56,400	50,450
合 計	114,755	106,648

* 平型のおむつは今年度より廃止

⑤財産保全サービス事業

高齢者、知的障がい者、精神障がい者のひとり暮らし世帯または対象者のみの世帯の方が安心して生活を続けていけるよう、保有する財産（預金通帳等）を金融機関の貸金庫に保管するサービス（年間利用料12,000円）を実施する。

ア. 相談援助実績 (件)

項目		件数		内訳			
		2年度	元年度	高齢	知的	精神	その他
a.	問い合わせ件数	1	0	1	0	0	0
b.	初回相談件数	6	6	4	1	1	0
c.	相談援助件数	23	25	4	0	19	0
合計（件数）		30	31	9	1	20	0
相談援助時間（分）		285	490	115	10	160	0

イ. 契約実績 (件)

項目		件数	内訳			
			高齢	知的	精神	その他
a.	令和2年度当初契約件数	2	1	0	1	0
b.	新規契約件数	0	0	0	0	0
c.	解約件数	2	1	0	1	0
合計（件数）		0	0	0	0	0

4. 地域福祉・ボランティア活動推進事業サービス区分関連事業

(事務事業費943千円、人件費45千円)

(1) 地域ささえあい活動団体助成 詳細は「5. 助成事業」に別掲

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、令和元年度と比べ、申請団体数が40団体（件数としては49件）減少し、助成額も259万5千円減となった。令和2年度に申請をしない理由として「活動の見通しが立たない」「活動はするが会場費などの経費がかからない」「これまで活動していた場所が利用できなくなった」などの理由が多くあげられた。

活動に大きく影響を受けた団体の主な特徴としては、①出張・訪問を主な活動としている団体、②子どもを対象にした団体や年齢層が高い団体、③人と人の接触が多い活動内容を行っている団体などであった。

前期	令和2年度		令和元年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
・ 地域福祉活動助成	75	3,277,000	107	5,052,000
・ 障がい当事者団体助成	15	750,000	22	1,100,000
・ 団体立ち上げ助成	0	0	10	470,000
・ 夢ひろげ助成	0	0	0	0
合計	90	4,027,000	139	6,622,000

(2) 地域ささえあい活動団体支援

地域活動推進員4人（内2人は神谷・東十条地域、桐ヶ丘地域アシスタントワーカーを兼務）が登録団体（北区地域ささえあい活動団体）への支援などを行った。

①地域ささえあい活動団体の現況（登録団体一覧）

No.	団体名	活動エリア	活動内容
1	ボランティアグループ「なの花」	王子	食事会
2	ほのぼの会	王子	食事会。年に一度は外出。
3	ほっとカフェ ひまわり	王子	喫茶・血圧・体脂肪測定他に体操教室の開催・手芸
4	豊島のうたごえひろば	王子	うたごえサロン
5	豊島健康麻雀班会	王子	健康麻雀
6	ストレッチ体操の美園会	王子	老化予防、認知症予防体操
7	ハーモニー豊五	王子	ハーモニカ演奏で楽しく愛唱歌を歌った後は茶話会
8	ロコクラブ	王子	子どもたちの宿題や自主学習を支援する場所です
9	ダイヤビック北	王子	いつも元気で明るく楽しく健康づくり
10	デフさくらの会	王子	高齢聴覚障がい者交流会
11	北区介護予防リーダーの会	王子	あんしんセンター支援・「おたっしや21」等開催
12	点訳サークル六星会(福祉センタークラス)	王子	広報誌の点訳等
13	ゆったりくらぶ	王子	使用済切手整理しながらコミュニケーションを図る
14	NPO法人 スマイリーサン	王子	障がい児者の為のサロン・プール・運動会・講習会
15	アンサンブル・トレモロ	王子	マンドリン合奏
16	北区肢体不自由児者父母の会	王子	学習会、親睦会、施設見学、啓発活動等
17	当事者の会 はるじおん	王子	作品集「雑草魂」発行
18	名主の滝さくら会	王子	筋トレ、ストレッチ、手品、お茶会等
19	北区コミュニケーション・モア	王子	セミナー、親睦会、手話学習など
20	東京北卓球バレー同好会	王子	ユニバーサルスポーツ卓球バレーを楽しみ交流する
21	ファンキーモンキーズ	王子	ダンス好きなキッズが楽しくダンスをしています！

22	北区さわやかポニークラブ	王子	乗馬による身体的・知的障害の機能向上と回復
23	上五のぞみ会	王子	食事会・配食
24	NPO法人でんでん子ども応援隊	王子	学習支援、生涯学習、子育て支援、子ども支援
25	ステップアップクラブ	王子	健康作り(ソフトエアロビクスとストレッチ体操)
26	若者の性と生を北区から考える会 Greenheart	王子	自主グループ内勉強会、高校・大学生関係者向講座
27	子育てママ応援塾「ほっこり～の」	王子	子育てママと「社会」をつなぐ、地域共助の拠点
28	NPO法人 彩結び	王子	多世代交流カフェの運営、講座の開催
29	ツインズエイド	王子	多胎児の家族への支援活動
30	ツインズタイム	王子	多胎家族の仲間作り(お話会、食事会、講演会他)
31	特定非営利活動法人 アドリブ	王子	北区の歴史・昔話に因んだ紙芝居を作成します。
32	ボランティア ひまわりクラブ	王子	訪問美容など
33	英語にふれよう	王子	親子で楽しく英語に親しむ
34	てとての会	王子	講座・勉強会
35	傾聴クラブ こあら	王子	傾聴
36	王子狐のミュージカルの会	王子	月1回稽古、地域行事、合唱祭、狐の行列への参加
37	傾聴クラブ あすか	王子	傾聴
38	傾聴クラブ さんさん	王子	傾聴ボランティア活動・勉強会・定例会
39	点訳グループ六星会	王子	北視協・春光・都障害者スポーツセンター他の点訳
40	ボランティアグループ アミークス	王子	袋物・カード入れ毛糸小物等生活雑貨を作ってます
41	ボランティアグループ こだま	王子	楽しく手芸を作り販売しボランティアに役立ってます
42	傾聴クラブ レインボー	王子	高齢者対象傾聴
43	きらきら太極拳	王子	太極拳
44	傾聴クラブ「ハッピー」	王子	傾聴
45	北区子育て光ママの会2014	王子	子育て中親の交流・講座 月1回の例会
46	カモミールの会	王子	アロマでコミュニケーション
47	飛鳥山太極拳愛好会	王子	毎朝ストレッチ体操・太極拳。地域の活動に参加
48	傾聴クラブ ひびき	王子	傾聴
49	NPO法人市民後見☆北ネット	王子	セミナー等の開催、情報交換、勉強会など。
50	傾聴クラブ てんてん	王子	傾聴ボランティア
51	つみき	王子	絵本読み聞かせを通しての社会参加、多世代交流
52	めんどりサロン 子ども食堂	王子	子ども食堂
53	子ども食堂「ののはな」	王子	子ども食堂・学習支援
54	東京北区ケンハモサークル	王子	鍵盤ハーモニカで様々な曲を演奏します
55	ママカフェ ひろば	王子	妊婦さん中心に相談受付・育児の伝承・ヨガ・講座
56	NPO・ACT北区たすけあいワー カーズひよこ	王子・赤羽	食事会・絵手紙講座・手芸の会
57	神谷虹の会	王子・赤羽	配食、食事会
58	脳トレを楽しむ会	王子・赤羽	脳トレ 認知症予防
59	親子サークル スキップ	王子・赤羽	親子でバレエストレッチ
60	unfeuilleあんふいーゆ	王子・赤羽	プリザーブドフラワーアレンジ
61	パーキンソン病友の会北区支部	王子・赤羽	会報発行・月例会パーキンソン病に関する情報提供
62	草の根国際交流の会・コアラサークル	王子・赤羽	イベントを行って外国籍親子の交流の場を作る
63	神谷堀公園ハイツふれあい会	王子・赤羽	健康体操、落語、演芸、琴、尺八、習字、カラオケ、折り紙等
64	きたく健やかWKの会	王子・赤羽	ウォーキングを主体に筋トレ及び脳トレを行います
65	絵本読み聞かせの会カスターネット	王子・赤羽	絵本読み聞かせ
66	神谷ストレッチクラブ	王子・赤羽	ストレッチ体操、認知症予防体操、

67	めんどりサロン 絵手紙の会	王子・赤羽	絵手紙講座(2回のうち1回は昼食の会)
68	街なかふくし・だんだん東十条	王子・赤羽	カフェ、お楽しみ企画
69	サロン・サンサン	王子・赤羽	親睦や元気作り(お茶会・体操・ゲーム・歌など)
70	神谷・東十条健康プラザ	王子・赤羽	サロン、居場所、カラオケ、読書会他
71	明るく唄う友の会	王子・赤羽	毎週金曜日に東十条三丁目会館に集まり歌う
72	王子神谷健康クラブ	王子・赤羽	茶話会健康マージャンを通して人との交流を楽しむ
73	三舞会	王子・赤羽	新舞踊、茶話会
74	東十条サンハイツ将棋同好会	王子・赤羽	月1回開催される将棋定例会を通しての多世代交流
75	ボランティア「サクラ草」	赤羽	食事会、レクリエーション
76	TOY BOX	赤羽	子どもと一緒に楽しむイベント・講座の企画
77	浮間ママズサークル	赤羽	親子ふれあい活動・交流会
78	浮しまカフェ	赤羽	認知症の方を地域で支える『ほっと一息カフェ』
79	ひまわりクラブ	赤羽	体操サロン、茶話会
80	浮間UHクラブ	赤羽	週1回 らくらく体操、おしゃべり会
81	喫茶室「虹」	赤羽	お気軽にどなたでも立寄れるカフェです
82	北三友の会	赤羽	食事会
83	コミュニティーカフェ「ドリーム」	赤羽	茶話会・友達作り・その他地域活動
84	囲碁を楽しむ会	赤羽	囲碁の自由対局
85	北赤羽健康麻将同好会	赤羽	マナーを大切に1日楽しく愉快的健康麻将
86	北フォルクローレ実行委員会	赤羽	若者フォークダンス運動・青少年の健全育成
87	うらちゃんのおうち	赤羽	多世代交流
88	赤羽太極拳	赤羽	太極拳の練習
89	NPO法人 クレセール心の相談室	赤羽	障がい児童・生徒の居場所作り、社会適応能力訓練
90	よさこい赤羽桜舞	赤羽	よさこい踊りを楽しみ、イベント参加、施設訪問
91	中国茶 水仙の会	赤羽	中国茶の粋な淹れ方を学び、香りとコクを楽しむ
92	NPO法人東京北部福祉倶楽部	赤羽	食事会、学習会、食文化、コーラス、ハーモニカ他
93	ステップ	赤羽	交流会・親子体操
94	エッセイ作文の会	赤羽	エッセイを書き、仲間作りをする。
95	こころとからだの元気Lab.	赤羽	アロマテラピー、ハンドタッチング、ボランティア
96	むつみ会	赤羽	卓球をツールにした介護予防
97	こっこ援	赤羽	保育園セミナー、保育相談、着ぐるみ出張・貸出し
98	笑いクラブ スマイル赤羽	赤羽	笑いの広場の提供。子どもひろばへのボランティア参加
99	ほほ笑みサロン	赤羽	体操・脳トレ・歌・カラオケ・レクリエーション
100	TENゴスペルクワイア	赤羽	子育て中の母子が一緒に参加できるゴスペルです
101	W(ウィズ)まま	赤羽	親子交流会
102	きたくコミュニティ・つむぐわ	赤羽	親子を中心とした多世代の学ぶ場、体験する場作り
103	赤羽自然観察公園ビオトープの会	赤羽	公園内の池でホタルが育つ環境作りと観察会の開催
104	鶴よ鶴よ	赤羽	体操・脳トレ・折り紙・盆踊・唄・ゲーム
105	西が丘桜クラブ	赤羽	ポッチャ・カラオケ・輪投げ・健康麻雀・合唱他
106	EQ(一休)スマイル	赤羽	笑いヨガ、認知症ケアゲーム
107	城北囲碁クラブ	赤羽	囲碁対局、講師による指導、囲碁旅行(年2回)
108	ミニデイホーム さくら	赤羽	食事会・お楽しみ会・手芸
109	桐ヶ丘ほほえみ会	赤羽	脳トレ 認知症予防
110	桐ヶ丘27夢みら	赤羽	食事会・茶話会・コミュニケーション活動
111	北園結の会蕎麦倶楽部	赤羽	そば打ちを通じての地域交流
112	赤羽ベーゴマクラブ	赤羽	ベーゴマ大会、ベーゴマ遊び等
113	KOKI会	赤羽	健康寿命を延ばし元気で生活する為の体操・脳トレ
114	桐ヶ丘交流サロン	赤羽	指遊び・クイズ・歌・体操と楽しいサロンです
115	なかよし食事会	赤羽	高齢者向けの栄養のある季節の食材での手作り料理

116	ふれあい会	赤羽	ピアノ伴奏でのコーラス
117	笑和会	赤羽	食事会、コーラス、交流会、笑演会「落語」
118	サークルタイム	赤羽	英語を通じて交流会。また、親子のリフレッシュ
119	ほっとカフェ	赤羽	地域のたまり場・どなたでも！
120	アクアフレンズ	赤羽	水中ウォーキング
121	ココロのふれあいさろん おむすび	赤羽	孤立予防のための居場所づくり。お困りごとの相談
122	りぷりんと北・すまいる北	赤羽	絵本読み聞かせ
123	りぷりんと北・あおいとり	赤羽	絵本読み聞かせ活動
124	みんなのサロン西大原	滝野川	お茶会＋催事(各種)を開催
125	シャペレーズ	滝野川	おはなし会等を通じ、乳幼児親子の支援
126	NPO法人 勉強レストランそうなんだ！！	滝野川	「放課後デイサービス勉強レストランそうなんだ」を開所
127	カフェあすかの会	滝野川	オレンジカフェ(認知症支援カフェ)のお手伝い
128	やよいクラブ	滝野川	さくら体操、マシン体操、お口体操の他、お茶会
129	「COCOROごはん」	滝野川	滝野川地域での子育て支援・子どもの居場所づくり
130	BLOSSOMS	滝野川	子育て世代を中心に歌を楽しむ
131	発達しょうがい児 親の会 グラン・ブーケ	滝野川	発達しょうがい児とその家族の交流、講座、例会
132	飛鳥会家族会	滝野川	困り事を話し合い・支え合い社会資源の上手な活用
133	ソノリテマンドリンクラブ	滝野川	依頼によるボランティア演奏
134	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	滝野川	社交ダンスの練習会
135	パステルこっとな	滝野川	パステル画の出前講座等
136	コミークラブ	滝野川	交流会(茶話会、レクリエーション)
137	手話ダンスサークル さくら草	滝野川	手話ダンスを通して、多くの方と交流をしている
138	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	滝野川	不登校・ひきこもりの家族会
139	りゅうのすけくん茶論	滝野川	サロン縁じよい田端駅商店街(谷田橋サロン)運営
140	りぷりんと北・北話会	滝野川	絵本の読み聞かせを通じての社会参加、世代間交流
141	筋力アップ友の会	滝野川	ストレッチ、脳トレ等でコミュニケーションを図る
142	いきいき元気友の会	滝野川	脳トレ及び発声(童謡他) ラジオ第1第2体操
143	健康カーレットクラブ田端	滝野川	カーレット競技
144	快眠ヨガの会	滝野川	簡単なヨガを通じての健康と生きがいづくり
145	すこやか長寿体操倶楽部	滝野川	筋力アップバランス歩行能力運動習慣を身につける
146	ひこばえ	滝野川	参加者と交流しながらのおはなし会
147	べっら・べる	滝野川	ハンドベル演奏
148	ねこの手	滝野川	木のおもちゃサロン、音楽を楽しむ会やお話会など
149	すまい・地域づくりの会	滝野川	地域で最期まで生活し続けられる地域すまいづくり
150	さかえ・ふれあいサロン	滝野川	各種脳トレ・歌・体操等
151	さかえ・で・サロン	滝野川	高齢者を対象としたレクリエーション
152	子育て教室	滝野川	医師歯科医 臨床心理士などによる連続講座の実施
153	北区おはなしの会	全域	おはなし会・講座等
154	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	全域	子どもの居場所・プレーパーク
155	親子支援グループそらいろの種	全域	保育支援・出張一時保育・チャリティーコンサート
156	紙芝居サークルきたきた座	全域	紙芝居の楽しさを届けています。
157	認定NPO法人 ことばの道案内	全域	最寄りの駅等から目的の施設までをことばで道案内
158	NPO法人 銀の鈴交流ネット	全域	ふれあい訪問活動
159	おもひでチューズデー	全域	昭和歌謡の演奏を通してお年寄りを元気に！
160	日本歌謡斉唱会	全域	施設・団体への訪問・おたのしみ歌謡・元気作り

161	王子がん哲学外来	全域	がん患者に寄り添い分かち合うメディカルカフェ
162	井戸端げんきのわ	全域	高齢・障がい者・関係者向け出張講座
163	りぷりんと北・さくら会	全域	絵本を通じて心豊かになることを願って
164	よみきかせの会たんぽぽ	全域	絵本の読み聞かせ・語り・わらべうたでおはなし会
165	一般社団法人 いのちを守る@プロジェクトJAPAN	全域	防災に関するイベント、セミナー、ワークショップ
166	おもひでロマンチカ	全域	高齢者対象のイベントやサークルでの演奏と講演
167	はあとほっと	全域	サロン・居場所
168	特定非営利活動法人 ねこのみみ	全域	飼い主のいない猫を減らす為の地域猫活動
169	へいへいと遊ぼう！ in北区	全域	声優による絵本読み聞かせ & 言語聴覚士の発達相談

※活動エリア詳細

王子地区：十条仲原、中十条、十条台、上十条、東十条、王子、豊島、岸町、王子本町、豊島、堀船

赤羽地区：志茂、神谷、岩淵町、赤羽南、赤羽、赤羽西、西が丘、赤羽北、赤羽台、桐ヶ丘、浮間

滝野川地区：滝野川、栄町、上中里、西ヶ原、昭和町、田端新町、東田端、田端、中里

②ささえあい活動団体等への活動状況アンケートの実施

登録団体「地域ささえあい活動団体」へ例年であれば訪問し、状況確認や活動支援を行っているのだが、今年度に関しては手紙、電話、メール等でのアンケートを実施。

対象：地域ささえあい活動団体、障がい当事者団体等

4月実施 189団体 (41団体未回答)

お休みしている	126
活動内容を変えて行っている	5
継続している	4
縮小して活動している	13

12月実施 188団体 (19団体未回答)

お休みしている	37
これまでとは異なる形で活動している	6
予防しながら活動を継続している	114
連絡・広報物のみで情報を発信	12

③話し合いのきっかけになるようなツール開発

「再開はしたいが感染症対策をどのようにしたらよいか」という質問や「再開にむけて不安を感じる」「再開について社協に判断してほしい」という声を多く聞き、それぞれの団体が自分たちで活動の再開について話し合っ決めて後押しするために、活動再開に向けた『ささえあいシート』を活動の振り返りと再会までの道のりを考えるツールとして作成。地域ささえあい活動を「集まれないのであれば辞める」のではなく、出来ないなかでも工夫をし、活動再開に向けた話し合いの材料としてもらおうとの想いで作成。シートは、(1)記録する(2)計画する(3)みんなで共有するという3つの観点で構成。

配布先：地域ささえあい活動団体、障がい当事者団体、高齢者あんしんセンター等

※Facebookでの周知、ダウンロード版も配布

④活動再開への具体的なヒントを提供～事例集の作成

時間とともに「ほかの団体はどうしているのか」「具体的にどんな工夫をしているのか」という声が届くように。活動自粛から再開に向け多くの団体が動き始めた一方で、活動再開をどのように始めたらいいかわからないという団体や、始めたが他に方法はないだろうかと模索している団体、活動自体を諦めそうになっている団体などさまざま。交流会などで集まらない今、各団体の活動状況を資料集として『あ！それ、いいね♪が見つかるヒント集』作成。ヒント集では、活動の意味とともに、普段の活動、今の工夫、気を付けているポイントを紹介。16の団体の様子を自粛から半年余り、時系列で紹介。

配布先：地域ささえあい活動団体、障がい当事者団体、高齢者あんしんセンター等

※Facebookでの周知、ダウンロード版も配布、自主グループ交流会等でも活用

⑤活動について一緒に考える場づくり

期間限定で、『ささえあい団体をささえよう！プロジェクト』を実施。「いつでも相談してください」ではなく、これからの活動をどのように進めるか、気軽に話してもらって個別相談を企画。「まだ先は見えないが何ができそうか社協と相談してみたい」「新しいチャレンジをしてみたい」など、一緒に考える時間を設定。

対象：地域ささえあい活動団体、障がい当事者団体等

⑥地域ささえあい活動交流会、支援講座等

(人)

No.	事業名	開催日	内容	参加人数
1	ボランティアルームたばた説明会兼交流会	開催せず		
2	ささえあい交流会	開催せず		
3	ささえあいフェスタ	開催せず		

*新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催せず

⑦ネットワーク作りを目的とした行事等への参加

No.	行事名	開催日
1	下水道ふれあいフェア	中止
2	ファミリーまつり	中止
3	オータムフェスティバル	中止

*新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催されず

(3) おちゃのこ祭祭2020（開催中止）

①趣旨

「話がある 和になる 輪ができる」をテーマに団体・個人が参加し、より豊かな地域のネットワークづくりを目指して例年開催している。開催に向け準備会の計画をたてていたが、感染の拡大、政府による緊急事態宣言の発令などをうけ2020の開催を中止とした。

②開催予定日及び会場

令和2年6月13日（土）～14日（日）滝野川会館・文化センター

(4) ボランティア保険の取り扱い

区分	令和2年度		令和元年度	
	取扱い件数	取扱い人数	取扱い件数	取扱い人数
ボランティア保険	190	4,582	387	5,587
行事保険	35	1,128	107	4,081
行事保険（当日参加対応型）	0	0	37	1,503

* NPO法人東京都北区市民活動推進機構に受付業務委託

5. 助成事業サービス区分関連事業

(事務事業費134千円、助成金支出4,027千円)

(1) 助成事業(歳末たすけあい募金助成事業)

歳末たすけあい募金の地域福祉配分金(前年度の歳末たすけあい・地域福祉募金)を財源に、以下の①～④の助成を行う。

① <区分I> 地域ささえあい活動助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
 - ・ 自主財源の確保が可能
 - ・ 北区内での年間の活動回数が10回(後期は5回)以上ある
 - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
 - ・ 北社協団体会員

※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 A、会場費 B、講師料 C、広報費 D、物品購入費

(ウ) 助成限度額 前期：助成項目A～D合わせて上限5万円
後期： " 上限3万円

(エ) 令和2年度助成団体

前期助成団体

No.	団 体 名	主な対象者	助成額
1	ボランティアひまわりクラブ	高齢者障がい者	50,000
2	飛鳥山太極拳愛好会	だれでも	50,000
3	りぶりんと北・北話会	だれでも	50,000
4	親子サークル スキップ	母または親子	50,000
5	ステップアップクラブ	だれでも高齢者	30,000
6	北区で子どもの遊ぶ場をつくる会	保護者子ども他だれでも	50,000
7	神谷堀公園ハイツふれあい会	高齢者	50,000
8	サークルタイム	保護者子ども	30,000
9	脳トレを楽しむ会	高齢者	50,000
10	北園結の会 蕎麦倶楽部	だれでも	50,000
11	赤羽太極拳	高齢者だれでも	50,000
12	親子支援グループそらいろの種	保護者子ども	50,000
13	シャベレーズ	保護者子ども	20,000
14	傾聴クラブさんさん	高齢者	50,000
15	絵本読み聞かせの会カスターネット	高齢者子どもだれでも	50,000
16	きたくコミュニティ・つむぐわ	だれでも	50,000
17	特定非営利活動法人 彩結び	乳幼児親子他だれでも	50,000
18	NPO法人クレセール心の相談室	課題を抱えている人	50,000
19	神谷ストレッチクラブ	だれでも	50,000
20	コミークラブ	高齢者	30,000
21	傾聴クラブこあら	高齢者だれでも	50,000
22	カモミールの会	障がい者だれでも	30,000
23	ほっとカフェ	だれでも	50,000
24	すまい・地域づくりの会	だれでも	50,000
25	むつみ会	高齢者障がい者	50,000
26	りゅうのすけくん茶論	だれでも	35,000

27	笑いクラブ スマイル赤羽	だれでも高齢者障がい者子ども	30,000
28	ねこの手	だれでも高齢者障がい者子ども	50,000
29	きらきら太極拳	だれでも	50,000
30	傾聴クラブ「ハッピー」	高齢者	50,000
31	さかえ・で・サロン	高齢者	40,000
32	TENゴスペルクワイア	保護者だれでも	50,000
33	不登校・ひきこもりの自主家族懇談会「赤羽会」	不登校・引きこもりの当事者、その家族	50,000
34	りぶりんと北・さくら会	だれでも	50,000
35	北区介護予防リーダーの会	高齢者	50,000
36	赤羽ベーゴマクラブ	だれでも	50,000
37	NPO法人市民後見北ネット	高齢者だれでも	50,000
38	Green・Heart(若者の性と生を北区から考える会)	学生、大人、医療系中心の専門職子ども	24,000
39	快眠ヨガの会	高齢者	30,000
40	鶴よ鶴よ	高齢者	24,000
41	めんどりサロン絵手紙の会	だれでも	30,000
42	傾聴クラブてんてん	高齢者だれでも	15,000
43	COCOROごはん	保護者子ども	50,000
44	りぶりんと北・すまいる北	だれでも障がい者子ども	50,000
45	街なかふくし・だんだん東十条	だれでも	30,000
46	ツインズタイム	多胎児とその家族等子ども	30,000
47	サロン・サンサン	高齢者だれでも	50,000
48	北赤羽健康麻将同好会	高齢者	30,000
49	城北囲碁クラブ	だれでも	50,000
50	EQ(一休)スマイル	だれでも高齢者障がい者子ども	50,000
51	エッセイ作文の会	高齢者障がい者だれでも	50,000
52	はあとほっと	保護者子ども	30,000
53	神谷・東十条健康プラザ	だれでも	50,000
54	こころとからだの元気Lab.	だれでも	50,000
55	英語にふれよう	だれでも子ども	39,000
56	めんどりサロン 子ども食堂	保護者子ども	30,000
57	名主の滝さくら会	高齢者	30,000
58	明るく唄う友の会	高齢者	50,000
59	NPO法人アドリブ	だれでも	50,000
60	ぱ・ど・あーるダンスクラブ	だれでも	50,000
61	王子神谷健康クラブ	高齢者だれでも	50,000
62	中国茶水仙の会	高齢者だれでも外国の方子ども	50,000
63	東京北区ケンハモサークル	だれでも障がい者子ども	50,000
64	よさこい赤羽桜舞	だれでも	50,000
65	浮間UHクラブ	高齢者だれでも	30,000
66	北区コミュニケーション・モア	高齢者障がい者だれでも	30,000
67	ロコクラブ	子ども	50,000
68	りぶりんと北・あおいとり	高齢者障がい者子ども	50,000
69	ファンキーモンキーズ	子ども	50,000
70	喫茶室「虹」	高齢者だれでも	50,000
71	三舞会	だれでも高齢者	30,000
72	特定非営利活動法人ねこのみみ	だれでも	50,000
73	東十条サンハイツ将棋同好会	だれでも	50,000
74	ママカフェひろば	子ども(1歳まで)、母親、妊婦	50,000

75	へいへいと遊ぼう！In北区	子ども	50,000
	実績	合計金額(円)	3,277,000
		件数(件)	75

後期助成団体（後期助成実施せず）

No.	団体名	主な対象者	助成額
	実施せず		
	実績	合計金額(円)	0
		件数(件)	0

令和元年度（前期・後期）	合計 107件/5,052,000円
--------------	--------------------

② 〈区分II〉障がい当事者団体助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、広く公開されている活動を行っている
 - ・ 身体、知的、精神の障がい等の当事者（北区在住）10名以上が会員で、かつ会則を制定している団体
 - ・ 北社協会員団体

※上記すべての項目に該当すること

(イ) 助成項目 年中行事を含む事業費

(ウ) 助成限度額 上限5万円

(エ) 令和2年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	主な対象者	助成額
1	北区身体障害者自動車会	だれでも	50,000
2	北区肢体不自由児者父母の会	障がい者	50,000
3	北区視覚障害者福祉協会	障がい者	50,000
4	北区聴覚障害者協会	障がい者	50,000
5	北区失語症友の会	障がい者	50,000
6	パーキンソン病友の会 北区支部	高齢者障がい者	50,000
7	ソフトラクロス インドア同好会	障がい者	50,000
8	ゆりかもめの会	障がい者	50,000
9	ふうせんクラブ	障がい者	50,000
10	和み会	高齢障がい者障がい者	50,000
11	NPO法人 重度心身障がい児・者親子の会 スマイリーサン	障がい者子ども	50,000
12	デフさくらの会	障がい者高齢者	50,000
13	当事者の会「はるじおん」	障がい者	50,000
14	発達しょうがい児 親の会 グラン・ブーケ	障がい者	50,000
15	東京北卓球バレー同好会	障がい者高齢者子どもだれでも	50,000
実績		合計金額 (円)	750,000
		件数 (件)	15

後期助成団体 (後期助成実施せず)

No.	団体名	主な対象者	助成額
	実施せず		
実績		合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0
令和元年度 (前期・後期)		合計22件/1,100,000円	

③ <区分III> 団体立上げ助成

(ア) 助成対象 ・ 区分Ⅰ「地域ささえあい活動団体」または区分Ⅱ「障がい当事者団体」の条件に該当する団体。ただし過去に歳末たすけあい・地域福祉募金助成において助成金をうけている団体は対象外とする。

(イ) 助成項目 A、広報費
B、物品購入費

(ウ) 助成限度額 助成項目A~B合わせて上限5万円

(エ) 令和2年度助成団体

前期助成団体

No.	団体名	他助成併願	助成額
1	申請無し		
	実績	合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0

後期助成団体 (後期助成実施せず)

No.	団体名	他助成併願	助成額
	実施せず		
	実績	合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0

令和元年度 (前期・後期)	合計 10件/470,000円
---------------	-----------------

④ <区分Ⅳ> 夢ひろげ助成

- (ア) 助成対象
- ・ 法人格を持たない非営利活動団体又は特定非営利活動法人
 - ・ 北区内に所在し、北区を拠点に活動している団体
 - ・ 北区内において、参加者・スタッフともにメンバーを固定せずに、オープンな活動を行っている団体
 - ・ 5名以上の会員で、事業を定めた会則を制定している団体
 - ・ 北社協会員団体

※上記すべての項目に該当すること

- (イ) 助成対象事業
- ・ 先駆的、実験的、実証的、実践的、他のモデルとなるような企画で、その事業に対する準備費、開発費、実践経費
 - ・ 地域福祉に関する調査、研究活動に対する経費、情報収集した事例集の発行経費

- (ウ) 助成限度額 上限50万円

(エ) 令和2年度助成団体

No.	団体名	助成額	
1	申請無し		
	実績	合計金額 (円)	0
		件数 (件)	0

令和元年度	合計 0件/0円
-------	----------

審査

東京都共同募金会北地区配分推せん委員会にて行う

開催日	出席者数 (人)	付議内容
10/5	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度助成団体実績報告 ・ 令和2年度前期助成金交付審査

R2年度助成事業説明・相談会

令和2年度助成事業の説明会 (令和2年3月に実施予定) については新型コロナウイルス感染拡大の影響により、説明会は実施せず新規申請検討団体に個別での対応を行った。

6. 地域福祉権利擁護事業サービス区分関連事業

(事務事業費854千円、人件費6,798千円)

【事業内容】

高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が、自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスを適切に利用する権利を擁護することを目的として、下記の援助を実施する。

① 福祉サービスの利用援助

ア. 福祉サービスについての情報提供、助言

イ. 福祉サービスを利用し、又は利用をやめるために必要な手続き

ウ. 福祉サービスの利用料を支払う手続き

エ. 福祉サービスについての苦情解決制度を利用する手続き

オ. 日常生活支援サービス（福祉サービスの適切な利用のため必要な一連の援助）

② 日常的金銭管理サービス

ア. 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き

イ. 税金、社会保険料、公共料金、医療費、家賃等の支払い手続き

ウ. 日常生活に必要な預貯金の払戻し、預け入れ、解約の手続き

③ 書類等の預かりサービス

金融機関の貸金庫にて、年金証書、預貯金通帳、権利証、契約書類等を保管

【実績】

④ 相談援助実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	昨年度 実績
ア. 問い合わせ件数	5	0	1	0	6	18
イ. 初回相談件数	336	42	40	60	478	465
ウ. 相談援助件数	2,991	373	680	407	4,451	3,896
合計	3,332	415	721	467	4,935	4,379

(注) ア・・・制度の一般的な問い合わせ イ・・・具体的な事例を伴った初回の相談
ウ・・・2回目以降の相談援助及び既契約者への相談援助

⑤ 契約実績

(件)

項目	認知症 高齢者等	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
ア. 令和2年度当初契約件数	23	6	6	4	39
イ. 新規契約件数	9	1	2	4	16
ウ. 解約件数	6	1	1	1	9
年度末契約件数(ア+イ-ウ)	26	6	7	7	46

参考（過去5年間の契約件数推移）

(人)

年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
年度当初利用者数	42	40	36	36	40
契約者数	8	9	13	6	8
解約者数	11	7	9	6	12
年度末利用者数	39	42	40	36	36

⑥ 生活支援員

ア. 生活支援員数

ボランティア活動経験者等の一般区民から生活支援員を採用し、利用者支援を実施。

(人)

令和2年度当初数	26
新規契約者	7
年度末退職者	7

イ. 生活支援員研修会等の実施、参加

(人)

No.	研修名	日程	内容	参加者数
1	北社協生活支援員事務連絡会	10/26	活動上の留意点等説明、事故報告、コロナ感染症対策について	19
2	東京都社会福祉協議会主催生活支援員新任研修	動画配信	生活支援員の役割と具体的業務、活動について	7
3	東京都社会福祉協議会主催生活支援員現任研修	動画配信	意思や意向を尊重した支援のあり方とは	4
4	北社協生活支援員研修会	3/19	感染症対策について、リフレッシュ体操	8

7. 権利擁護センター事業サービス区分関連事業

(事務事業費4,403千円、人件費27,302千円)

(1) 権利擁護センター「あんしん北」事業

(事務事業費3,285千円、人件費12,173千円)

福祉サービス利用、成年後見制度の利用、権利擁護に関わる相談及び福祉サービス利用に際しての苦情に総合的に対応する。

① 総合相談事業

- ア. 一般相談 高齢者や障がい者の権利擁護に関わる一般的な相談
- イ. 専門相談 一般相談のうち、法律的な対応が必要な場合等、法律・福祉・生活に関する一体的な専門相談(毎月第1、3水曜日午後、予約制で実施)
- ウ. 苦情相談 福祉サービス利用に関する苦情相談

【実績】

ア. 一般相談(職員対応総数)

項目	件数(件)
問い合わせ	7
初回相談	488
継続相談	4,462
合計	4,957

参考(過去5年間の一般相談実績推移) (件)

	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
問合せ	18	19	2	3	11
初回	476	341	355	426	370
継続	3,899	4,152	3,282	2,605	2,641
合計	4,393	4,512	3,639	3,034	3,022

イ. 専門相談(弁護士等対応総数)

実施件数(件)	19
実施時間(分)	1,140

参考(過去5年間の専門相談実績推移) (件)

年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
件数	30	11	17	17	12

ウ. 相談援助総数 (件)

実施件数(ア+イ)	4,976
-----------	-------

参考(過去5年間の相談実績推移) (件)

年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度
件数	4,423	4,523	3,656	3,051	3,034

エ. 初回相談の経路別相談件数(複数回答) (件)

区分	本人	親	子	配偶者	兄弟姉妹	親類	隣人・知人	ホームヘルパー	民生・児童委員	介護支援専門員	福祉施設	地域包括支援センター	医療機関	福祉事務所	行政(左記以外)	その他	合計
高齢者	50	0	59	16	16	30	13	0	0	39	4	76	19	1	5	13	341
知的障がい者	11	13	0	0	2	2	2	0	0	0	3	3	2	0	4	0	42
精神障がい者	7	5	0	0	7	0	1	0	0	1	4	6	3	1	4	2	41
その他	11	9	2	0	5	4	1	0	0	0	1	9	6	1	4	7	60
合計	79	27	61	16	30	36	17	0	0	40	12	94	30	3	17	22	484

オ. 初回相談内容の状況（複数回答）

(件)

区 分	福祉サービスの手続き	日常的金銭管理	書類等の預かり	保健サービスの手続き	医療に関する手続き	福祉サービスの苦情	今後の生活設計	本事業に関する問合せ	成年後見（任意後見）に関する問合せ	成年後見（法定後見）に関する問合せ	財産保全	消費契約	相続	財産侵害	虐待	遺言に関する問合せ	専門相談	その他	合計
高齢者	47	74	3	1	1	1	18	4	51	190	1	0	17	1	1	14	22	38	484
知的障がい者	3	5	0	0	0	1	1	0	3	23	0	0	1	0	0	2	1	12	52
精神障がい者	8	15	0	0	0	0	4	5	4	16	0	0	0	0	1	1	2	5	61
その他	5	8	0	0	0	5	10	5	7	29	0	2	1	0	2	1	3	10	88
合計	63	102	3	1	1	7	33	14	65	258	1	2	19	1	4	18	28	65	685

② 成年後見制度利用支援事業

【事業内容】

成年後見制度の利用が必要とされている高齢者、知的障がい者、精神障がい者などに対して、下記の援助を実施する。

- ・一般相談による成年後見制度についての説明・相談
- ・弁護士による専門相談
- ・弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の関係団体の紹介
- ・講演会及び説明会等の実施
- ・利用者の成年後見制度利用に関する援助

【実績】

ア. 成年後見制度に関する相談の実績(延べ件数)

(件)

項 目	内 訳				合計	昨年度実績
	電話	来所	訪問	その他		
一般相談による説明・相談	1,122	127	129	99	1,477	1,220
弁護士による専門相談	1	2	1	0	4	15
合 計	1,123	129	130	99	1,481	1,235

イ. 相談援助実績(成年後見一般相談延べ件数)

(件)

項 目		認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計	昨年度実績
初回相談	法定後見	190	24	16	29	259	240
	任意後見	23	0	1	2	26	34
相談援助件数		994	49	102	53	1,198	999
合 計		1,207	73	119	84	1,483	1,273

* 初回相談の法定後見と任意後見の内訳は複数回答による集計のため重複あり

ウ. 講演会の実施

(人)

No.	講座名	対象	内容	開催日	参加者数
1	老い支度講座① 「遺言」のいろは	区民	遺言の種類や書き方に関する基礎知識	12/4	41
2	老い支度講座② 「認知症に伴う法的問題」	区民	成年後見制度の基礎知識	12/4	41
3	老い支度講座③ 「介護保険制度の基礎から具体的な事例まで」	区民	介護保険制度の基礎知識	12/15	47
4	老い支度講座④ 「いまさら聞けない 老人ホームの基礎知識」	区民	老人ホームの基礎知識	12/15	47
5	福祉従事者向け成年後見制度説明会	区内福祉従事者	成年後見制度の概要、申立方法、あんしん北の取り組み	2・3月 配信	16

エ. 職員による出張説明等の実施

権利擁護センターの事業等を区民や関係機関の方々に周知し、利用促進を行うため職員が施設等に出向き説明等を実施。

(人)

No.	集会名	対象	内容	開催日	参加数
1	オレンジほっとクリニック成年後見講座	地域住民	成年後見制度	9/16	20

③ 苦情対応機関の設置

【事業内容】

福祉サービス利用に関する苦情に対する相談対応、苦情解決の実施

ア. 苦情相談受付

A. 対象別件数

(件)

項目	内訳				合計	昨年度実績	
	高齢	知的	精神	その他			
a. 問い合わせ件数	0	0	0	0	0	0	
b. 初回相談件数	1	2	2	5	10	28	
内訳	相談のみ件数	1	2	2	5	10	28
	苦情調整委員対応申立件数	0	0	0	0	0	0
c. 相談援助件数	1	2	1	21	25	29	
合計	2	4	3	26	35	57	
相談援助時間(分)	65	50	95	540	750	1,435	

B. 苦情内容別件数(複数回答)

(件)

苦情内容別件数		内訳				合計
		高齢	知的	精神	その他	
福祉サービスに関する苦情	サービス内容	0	1	0	1	2
	職員の対応・態度	0	2	0	2	4
	責任者・法人の対応	1	0	0	1	2
	具体的な被害	1	0	0	1	2
	虐待・拘束	0	0	0	0	0
	事業運営全般(寄付強要等)	0	0	0	0	0
	契約不履行・説明不足等	0	0	0	0	0
	利用料負担	0	1	0	0	1
	事業所から利用者に対する苦情	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	2	3
権利侵害	相続問題	0	0	0	0	0
	財産侵害	0	0	0	0	0
	金銭・財産管理	0	0	0	0	0
	金銭トラブル(消費、契約問題)	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	2	2

C. 対応意向別件数(複数回答)

(件)

苦情内容別件数	件数				合計
	高齢	知的	精神	その他	
話を聞いてほしい	0	0	1	0	1
教えてほしい	1	1	0	3	5
調査してほしい	0	0	0	0	0
改善してほしい	0	0	0	1	1
仲裁してほしい	0	0	0	0	0
謝罪してほしい	0	0	0	1	1
弁償してほしい	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	2	5

イ. 区内事業所向け苦情研修会の実施

区内福祉事業所・施設に対し、現場レベルでの苦情解決のための仕組みや体制づくりのための研修を行った

(人)

講座名	対象	内容	開催日	参加者数
福祉施設等苦情対応研修①	苦情受付担当者	苦情対応の基礎	10/15	22
福祉施設等苦情対応研修②	苦情解決責任者	事業所の責任等	10/15	20

(2) 成年後見活用あんしん生活創造事業

(事務事業費1,118千円、人件費15,129千円)

【事業内容】

成年後見人などに対する後見人等業務の支援などのため、下記の事業を実施する。

① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談

イ. 後見人等研修会の開催

② 地域ネットワークの活用

後見人等の業務や被後見人の生活を地域で支えるための地域ネットワークとして、関係機関等との情報交換や共同事業に取り組む。

③ 成年後見制度推進運営委員会の設置

本会の行う成年後見制度に関する事業の実施にあたり、事業運営方針等についての助言・指導等を行い、事業の適切な運営を確保する。

④ 社会貢献型後見人の養成

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業による講習修了者に対し、研修、実習、講演会、情報提供などにより、社会貢献型後見人の養成を行う。

【実績】

① 後見人等のサポート

ア. 弁護士等による専門相談の実績 (件)

項 目	件 数
法律家による専門相談	1

イ. 後見人等研修会の実施

(人)

講 座 名	対 象	内 容	開 催 日	参 加 者 数
親族後見人等勉強会	親族後見人、または受任を検討している親族	申立て書類を書いてみよう	3/9	3

② 地域ネットワークの活用

ア. 成年後見関係機関連絡会の開催

成年後見制度推進に関わる関係機関による連絡会を開催。

内容：専門職より、補助人の活動事例の発表と、グループディスカッション

テーマ：補助類型の活用等と同意権・取消権について考える

実施日：令和3年2月12日 午後2時～4時 オンライン開催

参加団体（計24団体34人）	
東京弁護士会、東京パブリック法律事務所、リーガルサポート東京支部北荒川地区、北区社会福祉士会、東京都社会保険労務士会北支部、市民後見☆北ネット、北区高齢者あんしんセンター（14か所）、北区（高齢福祉課）、東京都社会福祉協議会、北区社会福祉協議会、北社協成年後見推進運営委員会	

イ. 地域ネットワーク関係機関との会合等

No.	会議名	内 容	開催日
1	城北ブロック権利擁護センター長会議	センター運営に関する意見交換	4月中止 電話にて情報交換
2	北区高齢者あんしんセンター社会福祉士会議	センター事業に関する説明	①5/21中止、 ②9/17
3	城北ブロック権利擁護センター連絡会	センター事業に関する意見交換	①9/17、②12/4、 ③3/15

③ 成年後見制度推進運営委員会の設置

ア. 成年後見制度推進運営委員会の開催

会 議	内 容	開催日
第1回	令和元年度あんしん北事業報告と社会貢献型後見人モデルケースの報告、中核機関に関する報告。	12/10
第2回	中核機関の機能強化に関する検討、次年度事業計画の方向性、社会貢献型後見人モデルケースの報告。	3/17

④ 社会貢献型後見人の養成、受任の準備と取組み

東京都が行う社会貢献型後見人養成事業にともなう養成、研修の実施。

令和2年度登録者数：計5人

ア. 登録者面接

東京大学（教育学研究科生涯学習論研究室）の市民後見人養成講座を修了し、生活支援員として活動している後見人登録希望者を対象に面接を行い、適性が認められたため1名が社会貢献型後見メンバー登録となった。

イ. 養成研修

都の事業移行にともない、区による養成事業検討中のため新規養成を行わず。

ウ. 登録者研修・連絡会等の開催

日程	内容
12/23	登録者研修「高齢者・障がいのある方に関わる税金のはなし」

エ. 社会貢献型後見人受任の取組み

令和2年度に実施した区内高齢者施設入所者に対する調査から、社会貢献型後見人の受任が適当と思われるケースを抽出した。第1回成年後見制度推進運営委員会にて検討、承認を受けたのち北区が区長申立てを行い、北社協から推薦した候補者を後見人とし、北社協を後見監督人とする審判が3月9日に確定した。

⑤ 法人後見監督業務の取組み

ア. 後見監督業務の実施

下記モデルケース4を新規で受任し、モデルケース1・3・4の社会貢献型後見人に対する後見監督業務を行った。受任初年度は3か月に1回ごと、2年目以降は半年に1回ごとに書面と面接によって報告を受け、監督業務を遂行した。モデルケース3については被後見人死亡のため、家庭裁判所、法務局等への必要な手続きを行ったことを確認した。

モデルケース1（継続）

日程	内容
6/8	後見活動に関する監督の実施
6/9	家裁への監督事務報告書の提出
10/16	後見活動に関する監督の実施

モデルケース2（令和元年度中に終了）

モデルケース3（終了）

日程	内容
6/12	後見活動に関する監督の実施
8/4	被後見人死亡
8/4	終了報告等今後の進め方の助言

9/30	後見活動に関する監督の実施
10/20	後見活動に関する監督の実施
12/22	相続財産の引継ぎ立ち合い

モデルケース4（新規受任）

日程	内容
3/9	審判確定
3/19	後見活動の立ち合い（財産の引継ぎ）

⑥ 成年後見利用促進に関する北区との検討について

成年後見制度利用促進法に基づく国の成年後見制度利用基本計画では、区市町村が令和3年度までに中核機関の設置・運営と地域連携ネットワークを整備するように示されており、北区では「地域保健福祉計画（2017～2026）」の中で、既存の推進機関である権利擁護センター「あんしん北」を中核機関と位置づけ「広報や相談機能、受任者調整等の支援を含めた成年後見制度の利用促進機能の充実を図ります」としている。これらの状況の中で、北社協と北区で今後の利用促進に向けた具体的な取り組みの検討のため実務レベルでの協議を行った。

ア. これまでの主な協議内容

中核機関として機能強化すべき取り組みについての協議

- A. 北区における受任者調整、後見人育成、後見人支援に関する課題整理
 - 三士会等の専門職団体との意見交換
 - 地域包括支援センターへのアンケート実施
- B. 東社協の「新たな仕組み」の検討
 - （受任マッチングと後見モニタリングを中心に）
 - 都内他自治体の動向に関する情報収集
- C. 成年後見利用・区長申立て検討会の設置に関する情報収集
 - 受任調整等実施自治体（板橋区）への訪問視察
- D. 機能強化にともなう事業計画、体制整備等の検討

イ. 令和2年度の実施状況

日程	内容
6/29	中核機関の設置等に関する各課実務担当者との打ち合わせ
7/14	三士会（三弁護士会、司法書士会、社福士会）との情報交換
7/29	今後の打ち合わせの流れ確認
8/25	次年度新規事業に関する担当課との打ち合わせ
12/1	中核機関の設置等に関する各課実務担当者との打ち合わせ
1/18	区長申立てに関係する各課実務担当者との情報交換
1/29	三士会（三弁護士会、司法書士会、社福士会）との情報交換
2/24	成年後見制度利用促進検討会議に関係する各課実務担当者との情報交換

8 障害福祉サービス事業経理区分関連事業（事務事業費711千円、人件費10,713千円）
視覚障がい者ガイドヘルパー派遣事業

【事業内容】

北区から居宅介護サービス支給量の決定を受けた視覚障がい者に対し、通院と同行援護の外出支援を実施する。

【実績】

(1) ガイドヘルパー登録状況 (人)

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0	0	0	1	1	0	0	2
女性	0	0	0	1	7	25	8	41
合計	0	0	0	2	8	25	8	43

(2) 利用者登録状況 (人)

区分	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	0	0	0	0	0	1	6	3	2	0	12
女性	0	0	0	0	1	6	3	9	11	0	30
合計	0	0	0	0	1	7	9	12	13	0	42

(3) 実施状況

月	利用者数	ヘルパ-実績	総活動時間	介護給付費収入額	利用者負担額		合計収入額
	(人)	(人)	(時間)		(件)	(円)	
4月	39	26	379	775,726	14	50,033	825,759
5月	34	25	395	736,342	12	26,935	763,277
6月	32	28	640	1,243,473	11	22,775	1,266,248
7月	36	32	663	1,254,671	12	43,012	1,297,683
8月	39	26	474	924,807	12	49,185	973,992
9月	35	32	575	1,083,564	12	37,821	1,121,385
10月	35	32	645	1,172,370	12	48,546	1,220,916
11月	36	32	626	1,091,235	10	42,742	1,133,977
12月	34	31	580	1,136,463	11	47,231	1,183,694
1月	33	27	406	765,128	12	41,126	806,254
2月	31	31	443	713,427	9	26,785	740,212
3月	33	30	661	1,400,891	11	29,432	1,430,323
合計	417	352	6,485	12,298,097	138	465,623	12,763,720
月平均	35	29	540	1,024,841	12	38,802	1,063,643

(4) 登録ガイドヘルパー研修会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度は実施せず

(5) 関係団体への説明会等

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度は実施せず

9. 生活困窮者自立支援事業サービス区分関連事業

(事務事業費 13,298 千円、人件費 42,023 千円)

(1) 生活困窮者自立支援センター事業（北区から受託） (9,220 千円)

① 事業内容

「北区くらしとしごと相談センター」の運営（平成 27 年 3 月～）

さまざまな理由により、現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方、将来的に生活困窮になるおそれがある方（以下、「生活困窮者」という）に対し、それぞれが抱える課題を整理し、一人ひとりの状況に合わせた支援を、本人とともに考え、支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行うことで、それぞれの状況に合わせた自立をめざし、生活の立て直しを図る。

また、生活困窮者の社会的孤立を防ぐため、地域の社会資源を開発するとともに地域住民への理解を広げる。

ア. 自立相談支援事業

- ・就労その他の自立に関する相談支援、事業利用のためのプラン作成
- ・訪問支援も含め生活保護にいたる前の段階から早期に支援
- ・地域ネットワークの強化など「地域づくり」も担う

イ. 住居確保給付金

- ・離職により住居を失った、またはその恐れが強い生活困窮者であって、所得が一定水準以下の方に対し、家賃相当の「住居確保給付金」（有期）を支給

ウ. 家計相談支援事業

- ・家計収支等に関する課題の評価、分析と相談者の状況に応じた支援計画作成
- ・生活困窮者の家計の再建に向けたきめの細かい相談支援
- ・法テラス等関係機関へのつなぎや、必要に応じて貸付の斡旋

※「北区くらしとしごと相談センター」では、上記のア～ウのほか、就労支援及び就労準備支援事業を、株式会社パソナが北区から受託して行っており、同社と連携しながらセンター運営にあたっている。

エ. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による住居確保給付金の対象拡大

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来、2 年以内に離職し、常用就職の意思があり可能な方（医師から就労を止められていない方）を対象に家賃の一定額を助成する「住居確保給付金」について、令和 2 年 4 月 20 日（月）より失業、廃業と同等程度の減収状況にある方まで対象を拡大した。

支給は原則 3 か月間とし、世帯の収入が回復しない場合、2 回の延長、最長 9 か月までの支給が認められている。

また、1 月 1 日より、新型コロナウイルス感染拡大の影響による特例措置として、令和 3 年 3 月 31 日までに申請があったケースについて、3 回目の延長、最長 12 か月までの支給が可能となった。

さらに、これまで住居確保給付金は、原則として再支給が認められていなかったが、特例措置として、令和 3 年 3 月 31 日までを申請期限として再支給の申請を受けるとなり、さらに申請期間

を延長し、令和3年6月30日まで再支給の申請を受け付けることとなった。

なお、従来は、住居確保給付金の申請を受けるにあたり、就労支援等と組み合わせたプラン作成を必須としていたが、令和2年12月末まではプラン作成を要さない特例が設けられた。令和3年1月から3月までのプラン策定件数は221件（住居確保給付金219件、就労準備支援事業2件）であった。

② 相談・支援の実績

ア. 相談受付・申込・支援継続中の件数

No.	項目	令和2年度	令和元年度	備考
1	相談受付件数 (件)	1,695	517	
2	プラン策定件数 (件)	—	230	再プランを含む
3	プラン策定割合 (%)	—	44.5	プラン策定件数/相談受付件数

イ. 相談延べ件数

(件)

No.	年度		令和2年度	令和元年度
	項目			
1	電話相談・連絡		21,544	1,299
2	来所面談		4,188	1,621
3	訪問		21	186
合計			25,753	3,106

ウ. 相談内容内訳 (重複あり)

(件)

No.	項目	令和2年度	令和元年度
1	病気、健康、障がい	13	939
2	住まい	23,259	1,006
3	収入・生活費	22,674	1,950
4	家賃・ローン支払	23,299	1,259
5	税金、公共料金支払	569	458
6	債務	370	624
7	仕事探し、就職	590	1,234
8	仕事上の不安、トラブル	16,312	386
9	地域との関係	2	10
10	家族との関係	1	126
11	子育て	2	38
12	介護	10	40
13	ひきこもり・不登校	24	73
14	DV・虐待	5	28
15	食べるものがない	142	95
16	その他	1	363
合計		87,273	8,629

エ. 新型コロナウイルス感染拡大の影響による住居確保給付金の相談・申請件数

	住居確保給付金	集計開始時期
相談・問い合わせ	12,645 件	4/10～
申請	1,071 件	4/20～
延長申請	690 件	7 月～
再支給	44 件	2 月～

③ 支援調整会議

北区くらしとしごと相談センターの相談支援の利用を申し込んだ相談者へのアセスメントの結果、相談支援員は、それぞれの相談者個別のプランを作成する。支援調整会議は、作成された支援プランについて検討のうえ決定する場である。

従来は、月 1 回対面にて会議を開催していたが、令和 2 年度は書面での開催とし、主に住居確保給付金の支援を決定した。

④ 会議・見学等

生活困窮者自立支援を行うにあたり、関連団体、機関等との連携はきわめて重要である。さまざまな団体、機関との情報交換や連携を図るための会議出席、事業周知による連携機関、団体の開発、公民さまざまな機関、団体について情報を得ることで、より充実した支援を行えるように努めている。

令和 2 年度は、感染予防の観点及び新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済的打撃を受けた相談者の増加に対応するため、対面による会議や見学、視察、研修、プログラムの実施等ほとんどの取り組みを休止した。

ア. 外部会議への参加

No	会議名	開催日	内容
1	ひきこもり関係課連絡会	5/22、8/28、11/26 1/26、3/26	ひきこもり、8050 問題等の課題に対応する関係課による連絡会
2	ひきこもり合同相談会	3/18 (打合せ 3/5)	ひきこもり関係課による合同の相談会。5 ケースの相談を受ける。
3	ひきこもり家族会赤羽会定例会	12/5	家族会定例会にて自立相談支援機関事業の紹介
4	相談支援員等研修 動画作成	1/18 (打合せ 12/14)	都研修動画の撮影及びその打合せ

⑤ くらしとしごと相談センター事業に付随する取り組み

ア. 食料支援

北区くらしとしごと相談センターに来所された相談者で、食料を必要としている方に、地域住民や企業等からいただいた食料を配分している。

食料の支援は、すぐに食べ物を必要とする相談者はもちろん、家計を立て直すために活用することもある。

通常は相談を受けたうえで食料支援を行うが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮状態に陥る方が増えていることを受け、自由に持ち帰ることができるように、窓口に配置する食料を増やした。

食料は、フードドライブの実施、各家庭や企業等からの直接のご寄付によって確保することができる。

令和2年度は、フードドライブは感染予防の観点及び新型コロナウイルス感染拡大の影響による相談者の激増に対応するため実施しなかったが、独自にフードドライブを実施した3団体・企業から14件の寄付を受けた。

食品寄付受付件数 (件)

寄付者	件数
個人からの寄付	25
企業・団体からの寄付	30
その他	3

イ. 緊急一時宿泊施設のあっせん

(a) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた方への緊急一時宿泊施設のあっせん

緊急事態宣言（1回目）に伴う緊急一時宿泊施設のあっせんについて

緊急事態宣言の発令により、これまでネットカフェ等で寝泊まりしており、休業要請により宿泊場所を失った方を対象とした、緊急一時宿泊施設のあっせんを実施。

生活保護を希望する方、食費を賄えるだけの所持金がない方は生活福祉課が対応する。

4月13日より受付開始し、緊急事態宣言の延長、緊急事態宣言終結後の行き先確保のための猶予により4回の期間延長を経、6月末日までで終了した。

あっせん件数 17件

(b) 年末年始及び緊急事態宣言（2回目）に伴う緊急一時宿泊施設のあっせんについて

年末年始にあたっての緊急一時宿泊施設のあっせんを、(a)緊急事態宣言（1回目）に伴う緊急一時宿泊施設のあっせんと同じ条件で実施。

当初、利用可能期間を令和2年12月21日から令和3年1月19日としていたが、緊急事態宣言（2回目）を受け、令和3年2月7日までに、さらに、緊急事態宣言の延長を受け、令和3年3月7日まで延長されている。

あっせん件数 5件

(2) 子どもの貧困・孤立防止対策事業 (4,078 千円)

「子どもの貧困の連鎖を断ち切り孤立を防ぐ」ことを目標に、地域の大人で守り育てていくためのネットワークとして「北区子ども・若者応援ネットワーク」の運営を行うとともに、子ども支援活動の運営・立ち上げに関する相談及び支援、社会資源の調査、北社協子ども支援事業の周知、区からの受託事業として子ども食堂ネットワーク構築支援、学習支援教室の立ち上げ支援を実施した。

① ネットワーク事業

ア. 北区子ども・若者応援ネットワーク

「子どもたち、若者たちの育ちを応援する北区」を目指して「北区子ども・若者応援ネットワーク」を設立。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ネットワーク会議については ZOOM を活用したオンライン開催となった。

No.	開催日	参加者数 (人)	内 容
1	8/6	10	コアメンバー会議 ・令和2年度ネットワークについて ・北区子ども・若者応援基金との連携について
2	11/10	12	コアメンバー会議（オンライン会議） ・コロナ禍における各団体近況報告 ・今後のネットワーク活動について ・コロナ禍のネットワーク活動振り返り ・コアメンバーの活動について ・新規参加団体活動紹介 ・今後のネットワークの方向性、目標設定

イ. 子ども食堂ネットワーク（北区から受託）

「子ども食堂ネットワーク加盟団体」が計 28 か所となった。ネットワーク事務局として、オンラインネットワーク会議を実施し、コロナ禍で連携が希薄になりがちなネットワークの連携強化に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で休止の食堂が増える半面、子ども食堂への寄付申し出が急増し、ネットワーク内で情報を共有することで、必要とする食堂へ配分を行うことができた。また、緊急事態宣言等の影響で収入が減少し、食品の購入が困難になった世帯等へ食品を渡す「フードパントリー」の活動を行う区内の支援団体が 3 か所でき、今後フードパントリーについても実施団体と協議の上、ネットワーク化していく。

No.	開催日	参加者数 (人)	内 容	
1	10/19	14	第 1 回ネットワーク会議 (オンライン会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規団体紹介 ・コロナ禍における現在の活動状況共有 ・子ども食堂ネットワーク参加同意書の改訂について ・新しい取り組み（フードパントリー）活動紹介

<子ども食堂ネットワーク構築支援実績>

項目	令和 2 年度		令和元年度	
	北区受託事業	独自支援	北区受託事業	独自支援
立ち上げ支援	21	0	23	0
運営支援	87	2	41	2
個別支援	2	2	5	1
会議	1	0	4	1
ボランティア調整	13	0	20	1
寄付	198	0	80	0
利用相談	13	0	10	1
ネットワーク支援	21	1	13	2

② 団体支援

子ども支援団体の設立、運営に関する相談・支援を実施。

利用できる助成金等の制度紹介の他、先進事例への見学同行、調整、個々の団体では難しい研修等を社協が開催することで、各団体における子ども支援強化について実施した。

例年開催している学習支援教室運営者向け研修は、感染予防の観点からオンライン開催とした。子ども食堂等に対する「食品衛生講座」については、例年北区保健所に講師を依頼しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響による業務繁忙のため、開催を見送った。

講演・研修・イベント名	内 容	開催日	参加者数 (人)
学習支援教室運営者研修・情報交換会	学習支援教室運営者向け研修として、参加する子ども達の身体的・精神的安全と権利を守る「セーフガーディング」について実施	3/2	26

③ 学習支援事業（北区より受託）

北区からの受託事業として生活困窮者自立支援事業の任意事業である「子どもの学習支援教室」の立ち上げ・運営支援に取り組む。

令和元年度までに立ち上げた7教室に加え、新たに1教室を浮間地区に開設できるよう準備を進めたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により新教室の開設には至らなかった。堀船教室は会場である東京福祉大学が立ち入り禁止となり開催無し。中十条・赤羽西教室についても、会場が高齢者施設となっていたため、開催できなかった。王子教室は月2回をさらに分散し、開催回数を増やすことで密を避ける配慮を行った結果、延べ参加者人数が大幅に増えた。

<学習支援教室実施状況>

教室名	開催時期・時間	延べ参加者人数（人）	
		令和2年度	令和元年度
東十条	毎月第1、第3水曜日 16:30~19:00	40	264
滝野川	毎月第1、第3水曜日 17:00~19:00	507	253
桐ヶ丘	毎月第2、第4土曜日 14:00~16:00	186	158
堀船	毎月第2、第4水曜日 15:30~18:30	0	238
王子	毎月第1、第3土曜日 17:30~20:00 ※コロナ対応として短時間分散開催とした（毎週月・木）	1,193	267
中十条・赤羽西	毎月第1、第3水曜日 16:30~18:30	0	52
豊島	毎月第1、第3土曜日 16:00~18:00	253	16

<学習支援関連支援実績>

項目	令和2年度		令和元年度	
	北区受託事業	独自支援	北区受託事業	独自支援
立ち上げ支援	1	0	23	0
運営支援	247	4	101	1
個別支援	7	3	0	4
会議	4	0	1	0
ボランティア調整	69	1	40	3
寄付	12	1	2	0
その他	9	0	13	0

④ キャリア学習イベント

前年度に引き続き「(一社) SHOIN」「(公社) 東京青年会議所北区委員会」、「東京家政大学ボラガール」の協力により、「キャリア学習プログラム～職業体験イベント～」を実施。弁護士、調理師、プログラマー、左官職人などの体験を通して、子どもの「知る喜び」、「学ぶ楽しさ」を育み、「どのような仕事につきたいか」「夢をかなえるためにはどのようなことをするべきか」を考えるきっかけとなるように工夫し企画した。感染防止の為、参加人数を制限し、プログラムも昨年より減らしての実施となった。

<キャリア学習イベント参加状況>

イベント名	参加者数 (人)		
	内訳	令和2年度 (11/15)	令和元年度 (11/2)
職業体験イベント	小学生	27	28
	中学生	2	0
	保護者	24	25
	講師	26	10
	ボランティア	4	14

⑤ 他機関との連携

2か月に1回「北区子ども家庭支援センター」「北区子ども未来課」「北社協」の3者による定例会議を行い、事業予定、課題等の共有のほか、必要があれば個別のケース等が抱える問題解決に向けた話し合いを行った。定例会議を実施することにより、担当者間の顔の見える関係づくりにもつながり、各事業を実施する上でも相談、同行等の連携につながった。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活困窮に陥った家庭からの子ども支援に関する相談にも対応し、必要に応じて専門機関につないだ。

⑥ 調査・研修・発信

業務を行うに当たっては、担当職員のスキルアップを目的に研修への参加を行うが感染予防によりオンライン研修もしくは研修の中止が多かった。利用できる社会資源の調査、連携の可能性がある団体、個人へのヒアリング等については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自粛した。前年度と比較して寄付（資金、物資など）の問い合わせが増えたため、子ども支援事業に対する指定寄付として受付を行った際は、どのような活用をしたかフィードバックを寄付者に対して行い、承諾があればフェイスブック等で区内外に発信した。

⑦ 北区子ども・若者応援基金

子どもたち、若者たちの育つ力をささえる地域を目指し、「体験・経験」の格差を埋める助成実施のための基金設立を進めた。令和3年4月設立にむけて、検討には基金設置検討・準備委員会を設置し、全7回（内1回はコロナ感染予防のため書面会議）の委員会で設置に向けて検討を重ねた。

No.	開催日	参加者数 (人)	内 容
1	7/10	18	委員会のミッション・スケジュール、基金構想説明、意見交換
2	8/24	15	第1回振り返り、基金構想、意見交換
3	9/25	18	3カ年計画、今後の委員会について、寄付メニュー、広報 ほか
4	10/16	18	規程・募集要項、広報、寄付方法、呼びかけ人・賛同人について
5	12/10	18	助成審査スケジュール、要綱、募集要項、申請書、報告書の様式 ほか
6	1月	書面 会議	募集要項、申請用文書確認、基金設置スケジュール、運営委員会への移行、基金の愛称
7	3/10	17	基金スケジュール、呼びかけ人依頼、運営委員会への移行
8	3月末		理事会・評議員会にて設置を承認

10. 生活福祉資金貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 26,674 千円、人件費 34,319 千円)

(1) 生活福祉資金貸付事業（東京都社会福祉協議会から受託）

① 事業内容

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、無利子もしくは低利子での資金の貸付と、必要な相談援助を行うことで、世帯の経済的自立等を図ることにより安定した生活を送ることができようにする。

② 実績

ア. 年間貸付決定・相談件数

貸付資金区分	件数・年度		決定件数 (件)		相談件数 (件)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
福祉資金(緊急小口資金を含む)	0	3	388(※)	2,030	388(※)	2,030
教育支援資金	9	14				
総合支援資金	0	0	145	136	145	136
不動産担保型生活支援資金	0	0	2	52	2	52
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	1	1	3	2	3	2
合計	10	18	538	2,220	538	2,220

(※)新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付については 10. (2) 緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）(p77～)のページを参照。

イ. 貸付資金種別内訳及び貸付決定金額

貸付資金区分	資金種別	令和2年度		令和元年度	
		件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
福祉資金	その他の福祉資金等	0	0	1	90,000
	緊急小口資金	0	0	2	160,000
	小計	0	0	3	250,000
教育支援資金	教育支援費のみ	4	5,314,000	2	1,716,000
	教育支援費+就学支度費 (うち就学支度費金額)	5	6,285,000 (984,000)	12	14,672,000 (7,122,000)
	小計	9	11,599,000	14	16,388,000
総合支援資金		0	0	0	0
不動産担保型生活支援資金	要保護向け不動産担保型生活支援資金	0	0	0	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	入学準備金	1	480,000	1	500,000
合計		10	12,079,000	18	17,138,000

※上記は貸付が決定した金額。教育支援資金（就学支度費含む）は、分割での交付のため本人への交付金額とは異なる。

※資金種別は、令和2年度または令和元年度に貸付実績があったもののみを掲載。

(2) 緊急小口資金及び総合支援資金特例貸付（東京都社会福祉協議会から受託）

① 事業内容

生活福祉資金貸付事業の一環で、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付の相談、受付業務を令和2年3月25日（水）より開始。

緊急小口資金については、社会福祉協議会での受付と並行し中央労働金庫で4月30日から、日本郵便株式会社で5月28日から、9月末日まで申請受付業務が行われていた。

当初、申請期間を7月末までとしていたが、9月末、12月末、3月末までの延長を経て、さらに6月末まで延長された。

また、総合支援資金については、3か月の貸付期間終了後、さらに3か月の貸付をする延長貸付、さらに、令和2年末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、既に緊急小口及び総合支援資金の貸付が終了した世帯を対象に、総合支援資金の再貸付を実施することとなった。いずれも申請期限は令和3年6月30日。

ア. 貸付制度の概要

A. 緊急小口資金（特例貸付）

貸付金額 20万円 据置期間 1年以内 返済期間 2年以内（24回以内）
連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）

B. 総合支援資金（特例貸付）

貸付金額 二人以上世帯：月額20万円以内 単身世帯：月額15万円以内
貸付期間 原則3か月以内
据置期間 1年以内 返済期間 10年以内（120回以内）
連帯保証人 不要 利子 無利子（延滞利子年3.0%）
*総合支援資金延長貸付及び再貸付も同じ内容である。

※ただし、令和3年3月31日現在、a、bとも据置期間は令和4年4月以降まで延長されている。

② 実績

ア. 相談・申請件数

	緊急小口資金	総合支援資金	集計開始時期
相談・問い合わせ	8,577件	12,222件	小口：3/12～、総合：4/21～
申請	6,512件	4,521件	小口：3/25～、総合：4/30～
延長申請		2,255件	7/20～
再貸付申請		1,848件	3/1～

11. 受験生チャレンジ支援貸付事務受託事業サービス区分関連事業

(事務事業費 528 千円、人件費 5,976 千円)

(1) 受験生チャレンジ支援貸付事業 (北区から受託)

① 事業内容

一定所得以下の世帯の子どもの進学を支援するため、以下の内容で貸付を行う。
進学後、一定の要件を満たすことにより、償還免除となる。

ア. 学習塾等受講料

中学 3 年生・高校 3 年生とも限度額 200,000 円

イ. 大学・高校受験料

高校・・・限度額 27,400 円 (計 4 回まで ※1 校あたりの上限 23,000 円)

大学・・・限度額 80,000 円 (回数や金額の制限なし)

② 実績

ア. 相談件数

(件)

令和 2 年度	令和元年度
882	1,023

イ. 貸付件数

(件)

貸付区分・学年	件数・年度	決定件数	
		令和 2 年度	令和元年度
学習塾等受講料	高校受験	73	63
	大学等受験	20	22
受験料	高校受験	70	60
	大学等受験	29	39
合計		192	184

12. 緊急援護たすけあい資金貸付事業サービス区分関連事業

(1) 緊急援護金貸付・給付事業

① 事業内容

緊急に資金を必要とする方へ次の援護金等を貸付及び給付する。(福祉事務所に依頼)

- ・北区在住の生活困窮者への緊急生活費貸付
- ・住所不定者への交通旅券支給

② 実績

区分	令和2年度		令和元年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
緊急生活費貸付	220	1,126,610	186	983,710
交通旅券支給	28	6,600	39	14,540
合計	248	1,133,210	225	998,250

(2) たすけあい資金貸付事業

① 事業内容

緊急で一時的な出費によって、日常生活を脅かされるおそれがあり、他から資金を借り受けることが困難な世帯に対し、3万円を限度額として緊急生活資金等を貸し付ける。

② 実績

区分	令和2年度		令和元年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
生活保護受給世帯	1	7,000	3	66,280
一般世帯	0	0	0	0

Ⅱ. 社会福祉事業区分 歳末たすけあい運動事業拠点区分

1. 歳末たすけあい運動事業 (2,190千円)

- ① 募金名称 歳末たすけあい・地域福祉募金
- ② 運動期間 令和2年12月1日～12月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会／東京都社会福祉協議会
- ④ 実施団体 北区町会自治会連合会／北区赤十字奉仕団／
北区民生・児童委員協議会／北区社会福祉協議会
- ⑤ 協力 北区
- ⑥ 運動の成果

収入内訳		金額 (円)
ア. 募金収入		21,902,955
A.	町会・自治会連合会取扱分	20,824,344
B.	北区社会福祉協議会事務局取扱分	1,078,611
	職場募金	975,611
	募金拠点取扱分 ※募金拠点＝北区エコー広場館4館	52,150
	街頭募金・イベント分	0
	個人・団体等募金分	50,850
イ. 雑収入 (前年度繰越金および当年度利子収入)		22
ウ. 北社協負担分		0
収入合計		21,902,977

支出内訳		金額 (円)
エ. 東京都共同募金会納付金 (令和2年度地域福祉活動費に充当)		19,712,680
オ. 事務経費		2,190,297
支出合計		21,902,977

(令和3年1月25日監査実施日現在)

⑦ 実施委員会

令和2年度 第1回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
10/13	10	会計監事の選出 令和2年度北区歳末たすけあい運動の実施 令和2年度北区歳末たすけあい運動 実施・スケジュールの確認

令和2年度 第2回北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会

開催日	出席者数(人)	付議内容
3/26	8	令和2年度北区歳末たすけあい運動 監査報告 令和2年度北区歳末たすけあい運動 活動報告

※ 平成28年度に、以下を任務とする「北区歳末たすけあい運動実施団体代表者協議会」を設置。

- ア. 歳末たすけあい運動の実施内容に関する事
- イ. 会計監事の選出に関する事
- ウ. その他、北区歳末たすけあい運動の実施についての必要な事項

⑧ 令和2年度北区歳末たすけあい運動実施団体説明会及び配分先団体による活動報告

※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催中止

⑨ 監査

開催日	出席者数(人)	監査内容
1/25	8	令和2年度北区歳末たすけあい運動決算監査

Ⅲ. 公益事業区分 介護保険事業拠点区分

1. 介護予防拠点施設事業

(指定管理者として北区から受託)

(桐ヶ丘 事務事業費8,756千円、人件費18,101千円)

(滝野川東 事務事業費2,208千円、人件費16,922千円)

【事業内容】

ぷらっとほーむ滝野川東及びぷらっとほーむ桐ヶ丘の運営

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 介護予防教室（ストレッチや筋トレ、料理、フラワーアレンジ等）

イ. ボランティアや地域の方々とのふれあいサロン（喫茶、創作活動、情報提供等）

単発講演会、イベント

ウ. その他（グループ立ち上げ支援、出前講座、体力測定会、相談受付等）

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービス提供する事業

身体の虚弱な高齢者を対象とした施設に通所して運動等のプログラムを提供するサービスを行っている。滝野川東は毎週木曜日、桐ヶ丘は毎週水曜日に実施。

また、高齢者が地域ではつらつと自立生活を送るための支援プログラムを地域住民等と協働で実施している。

【実績】

① 介護予防の普及啓発に関する事業

ア. 両施設合計延べ参加者数および実施回数

参加者数 (人)	介護予防教室等	交流サロン 講演会、相談会 等	ボランティア等 人材育成 ※1	地域活動 育成、支援	介護予防 に資する 地域活動	その他 ※2
4月	0	0	0	54	5	0
5月	0	0	0	25	3	0
6月	36	0	0	87	23	0
7月	169	0	0	125	26	218
8月	154	26	0	190	46	23
9月	159	82	0	245	54	0
10月	159	25	0	357	53	139
11月	239	43	0	323	59	0
12月	268	44	0	338	66	0
1月	42	0	0	48	13	0
2月	0	0	0	19	50	0
3月	0	46	8	251	36	0
計	1,226	266	8	2,062	434	380
実施回数 (回)	179	32	1	241	82	60

広報物 作成、配布	2,124回
--------------	--------

※1 介護予防リーダーフォローアップ講座 等

※2 利用者満足度調査、自治会・町会行事協力 等

② 通所により介護予防及び地域における自立支援に関するサービスを提供する事業
ア. 通所型サービス事業

施設名	登録者数 (人)	延利用者数 (人)	開所日 (日)	延定員 (人)	利用率 (%)
滝野川東	10	205	49	980	20.9
桐ヶ丘	16	591	50	1,500	39.4
合計	26	796	99	2,480	32.1

イ. 男女別登録者数 (人)

施設	男性	女性	合計
滝野川東	3	7	10
桐ヶ丘	5	11	16
合計	8	18	26

※登録者数は令和3年3月31日時点の人数

ウ. 来所者数・相談件数等 (延べ人数 ※2施設合計) (人)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護 予 防 事 業 関 連	見学	0	0	0	0	0	1	6	0	1	0	5	0	13
	会場貸出し	0	0	0	0	15	133	146	103	163	215	17	0	792
	来所による 問合せ・相談	0	17	24	66	81	62	62	97	78	87	41	74	689
	その他問合せ相談	0	103	112	235	278	211	270	351	371	335	288	164	2,718
	合計	0	120	136	301	374	407	484	551	613	637	351	238	4,212
通 所 事 業 関 連	利用に向けた見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	事業協力者	0	0	0	5	5	4	5	4	6	3	1	0	33
	来所による 問合せ・相談	0	4	4	10	11	4	7	3	6	7	3	4	63
	その他問合せ相談	0	111	83	64	53	37	19	31	34	30	56	35	553
	合計	0	115	87	79	69	45	31	38	46	40	60	43	653
上 記 以 外	来所による 問合せ・相談	0	106	49	183	270	163	170	233	196	215	151	176	1,912
	その他問合せ相談	0	111	76	127	188	106	108	135	101	163	154	126	1,395
	合計	0	217	125	310	458	269	278	368	297	378	305	302	3,307
視察研修実習		0	0	0	0	1	13	5	6	13	4	0	4	46

エ. 交流サロン縁じょいプログラム

A. 閉じこもり予防プログラム

No.	内容	対象	目的	協力団体	実施場所	参加者数/ 開催回数
1	交流サロン	利用者・ 利用修了者・ その他	地域の方々が自由に参加でき、体操を主に、脳トレや茶話会、情報共有を交えて仲間づくり、生きがいづくりへの支援をする。そのことで閉じこもり予防、認知症予防を目的とする。	桐ヶ丘交流サロン	ぷらっと ほーむ桐ヶ丘	28人/2回
2	大人の寺小屋	利用者・ 利用修了者・ その他	認知症予防にもなるパズルやクイズ式脳トレ冊子を、個人のペースで進め、達成感を得つつ楽しむ。また、地域住民との交流、介護予防、閉じこもり予防とし、高齢者への社会参加機会とする。		ぷらっと ほーむ桐ヶ丘	129人/16回
3	朝活かよう市	利用者・ 利用修了者・ その他	地域内で安心して参加できるように、地域の中央部に位置する商店街でバザーや手作り作品の販売ボランティアをサポートし、興味をもって関わるきっかけを設け、社会参加を促す。	桐ヶ丘やまぶき荘 高齢者あんしんセンター、 ドリーム ヴィ、朝活スタッフ	桐ヶ丘中央 商店街あかしや前	305人/15回
4	傾聴	利用者・ 利用修了者・ その他	心のサポートとして、地域活動や生活内のトラブル、悩み事や困りごとなどを吐き出していただく。それによって、客観的に現状を受け止められたり、冷静に解決の糸口を自ら見つけられるなど、心の発散を図り、孤立生活の予防や生活リズムの安定に、機会を設ける。	傾聴 ひまわりの会	ぷらっと ほーむ桐ヶ丘	8人/5回
5	低栄養予防	利用者・ 利用修了者・ その他	高齢者が、摂取すべき食材や成分を知り、簡単でアレンジされた料理方法を学ぶ。そして、身近な生活内で行える新型栄養失調予防を意識していただくきっかけとする。	バランス クッキング	ぷらっと ほーむ桐ヶ丘	17人/1回

オ. その他地域交流行事

A. ぷらっとほ一むまつり検討会

目的および内容	協力団体	実施場所	参加者数/ 開催回数
<p>新型コロナウイルス感染症に伴い、例年開催しているぷらっとほ一むまつりの開催について地域の協力者とともに意見交換を行う目的で実施。 コロナ禍での各団体の活動状況やイベント開催に関する意見交換を行ない、この協議を経て令和3年4月には実施しないこととした。</p>	<p>桐ヶ丘自治会連合会、桐ヶ丘地域振興室、桐ヶ丘地区民生委員・児童委員、桐ヶ丘中央商店街、桐ヶ丘児童館、桐ヶ丘保育園、桐ヶ丘やまぶき荘、ドリームヴィ、スワンベーカーリー、KIRISATOおやじ倶楽部、若葉福祉園、赤羽西福祉工房、パステルこっとな、喜多生活学校、桐ヶ丘交流サロン、北区赤十字奉仕団桐ヶ丘分団、大橋病院、コスモスの会、あかしゃ手仕事グループ他</p>	<p>ぷらっとほ一む桐ヶ丘</p>	<p>23人/1回</p>

B. 桐北自治会 夏休みラジオ体操

目的および内容	協力団体	実施場所	参加者数/ 開催回数
<p>身近な場所で体操ができ見守りにもつながる場所として開催。毎年7月最終週～8月1週目の日曜日までをラジオ体操の日として運動指導員や介護予防リーダーが参加し、声をかけながら実施。</p>	<p>桐北自治会主催</p>	<p>赤羽北3丁目 児童遊園</p>	<p>80人/4回</p>

カ. 各種事業における新型コロナウイルス感染症防止対策

【ぷらっとほ一む滝野川東】

A. 通所事業

環境整備	職員	利用者
<ul style="list-style-type: none"> ・アクリル板設置、座席間の距離確保 ・サーキュレーター設置、窓や出入口を開放して換気強化 ・机、椅子の他、触れる可能性高い場所や物のアルコール消毒 ・手指消毒液を出入口に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、消毒、検温、マスク着用 ・体操、プログラム時など常に利用者との距離を確保 ・相談、ヒアリング時アクリル板使用 ・プログラム、配布物を通しての注意喚起 ・欠席者への定期連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での検温、健康チェック ・マスク着用 ・来所時の手洗い、消毒、検温、看護師による健康チェック ・新型コロナウイルス感染防止のための確認票の記入

B. プログラム

環境整備	時間制限	人数制限
<ul style="list-style-type: none"> ・アクリル板設置、座席間の距離確保 ・サーキュレーター設置、窓や出入口を開放して換気強化 ・机、椅子の他、触れる可能性高い場所や物の消毒 ・手指消毒液を出入口に設置 ・非接触型体温計で検温 	<ul style="list-style-type: none"> ・(新型コロナウイルス感染防止のための確認票記入等含め)滞在時間が1時間以内になるよう設定。終了後、1時間以上の換気、消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ・ぷらっとほ一む滝野川東 ⇒10名以内 ・ふれあい館活用時 ⇒20名以内

C. 会場貸し

環境整備	時間制限	人数制限
<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒液、非接触型体温計を設置。来所時に手洗い、消毒、検温、記録 ・サーキュレーター設置、窓や出入口を開放して換気強化 ・会場使用方法について文書を配布、説明し感染防止に協力いただく ・備品消毒液、ペーパータオル、ゴミ箱を設置。活動終了時、椅子をはじめ使用備品の消毒を各自行う（その後職員が再度消毒） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（施設利用チェックシート記入時間含め）1時間 終了後、1時間以上の換気、消毒 	<ul style="list-style-type: none"> ・10名程度

※出前講座では屋外体操など取り入れ工夫しグループ支援を行う。また自主グループ交流会等の施設外事業でも手指消毒、検温、記録の徹底を行う。

D. 新規内容(広報の強化)

動画配信	郵送と配布内容	電話・来所
<ul style="list-style-type: none"> ・おうちで体操教室動画 2回 ・おうちでコグニサイズ動画 2回 ・おうちで北区さくら体操動画 ・おうちでボランティア ・情報提供に関する案内 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ミニかわら版 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報 ・おうちで体操教室プリント ・おうちであたま体操教室プリント ・季節の折り紙キット ・セルフチェックシート ・健康お助けタイムズ(聖学院、女子聖学院コラボ) など 	<p>電話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師、職員の利用者への電話による状況確認。聞健康相談、アドバイスなども行う ・職員の自主グループ代表への電話による状況確認。情報提供、活動アドバイスなども行う。 <p>来所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師、職員による相談受付。情報提供、アドバイスを行う
<p>合計数 : 14回</p>	<p>合計数 : 2,801通</p>	<p>合計数 : 563件</p>

【ぷらっとほ一む桐ヶ丘】

A. 通所事業

環境整備	職員	利用者
<p>出入口での手指消毒を設置。机に、アクリル板設置し、1机に2人利用とし斜めに着座とする。午前と午後の2回に分けてプログラム含む活動の密を回避する。窓は開放し、風の無い日は扇風機で流れを設ける換気を実施。予定していたボランティアのプログラムを2種(紙漉きとパステル画)にして接触機会を調整した。</p>	<p>手指消毒と検温の実施。手洗いや、使用物品を都度消毒。大きい声を出さない様に、マイクを使用。人に手渡すマイクを使用の際は都度消毒し手渡す。(手話ダンス、読み聞かせ、塗り絵を休止) 休止中は、利用者に連絡し様子を確認。徐々に参加され始める。</p>	<p>出入りの手指消毒と検温の徹底。マスクの着用。個々の椅子(席)指定とし利用。4月頃～1回目の緊急事態宣言では、自主的な休みが多い(半数程) 夏頃～13人/1日程利用 10月には通常数となる 以降は、特別な変動なし</p>

B. プログラム

環境整備	時間制限	人数制限
<p>お食事やお茶が出来るサロン、自主グループによる食事会や、映画会などのプログラムを休止。換気や消毒を徹底し、出入口の密接を避けるために、立ち位置マークを表示し移動の際は、声をかけて順番に下足箱へ移動いただくなどの時間差の対応を行った。床は、次亜塩素酸水で毎日消毒し、スリッパも、徹底した消毒マニュアルに沿って管理。</p>	<p>6月～7月 体操は、午前と午後とも30分間の開催 体力測定会は、午前と午後の2回(1時間以内) 8月～3月 体操は、午前と午後の2回(45分間)</p>	<p>4月から休止 6月～7月 30分間の体操は、10名まで 体力測定会も、10名まで 8月～3月 45分間の体操は、12名まで 体力測定会も、12名まで</p>

C. 会場貸し

環境整備	時間制限	人数制限
<p>4月から7月まで休止 8月～ 感染対策に個別で会場貸しの打合せを実施。 個別に、利用の際の消毒方法や、参加者の体調確認や事前情報確認、当日の検温記録など説明。それぞれのグループが、机や椅子、仕切り板を消毒し時間内に退室している。</p>	<p>8月～きりのはな(学習支援) 利用 45分間 9月～8グループが利用 (60分) 10月～9グループが利用(60分) 11月～11グループが利用(60分) 1月～緊急事態宣言期間中休止</p>	<p>8月～きりのはな20人以下 9月～1グループ10名以下</p>

D. 新規内容 (広報の強化)

動画配信	郵送と配布内容	電話・来所
<p>体操の動画をFacebookで配信。 桐ヶ丘の庭に来るスズメの動画を2パターンで配信。また、ボランティアの協力で庭の果実の収穫を報告。 コロナ禍での活動報告や、作品など。</p>	<p>感染対策や手作りマスク、けん玉ライフ、Facebookを利用できない方にも見ていただける体操のお知らせを書面で配送。 桐ヶ丘に来られない時期には、庭の花や果実の写真を納めたチラシを配送。 交流会が延期となった際は、アンケート報告、毎月送る脳トレプリントなどを送付。</p>	<p>来所できない期間には、看護師や職員が利用者に対して電話で体調確認と声掛けを実施。 4月は、感染症を心配する声がある一方で、活動出来ず淋しいなどの声があった。利用者からは徐々に膝や腰の痛み、体力低下や転倒骨折、認知機能低下に関しての不安が寄せられるようになった。利用者からは手紙のお礼や、脳トレプリントの解答確認に行くのが楽しみとなっていることや、散歩途中で施設に立ち寄って顔を見たことで、ほっとして涙ぐむなどの声が寄せられた。</p>
<p>合計数：8回</p>	<p>合計数：3,479通</p>	<p>合計数：188件</p>

2. 要介護認定調査事業（北区から受託）（事務事業費9,962千円、人件費65,708千円）

【事業内容】

北区より委託を受け、指定市町村事務受託法人として、介護保険の要介護認定調査を行う。

【実績】

(件)

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	785	553	594	605	597	660	659	627	640	633	646	728	7,727
令和元年度	761	731	731	740	746	718	708	674	680	729	840	845	8,903

IV. 収益事業区分 自動販売機設置事業拠点区分

平成21年度より設置・管理を実施

【販売手数料収入合計】

416,972 円

(前年度：638,671円)

No.	設置場所	所在地	設置業者	台数 (台)
1	東京都北区役所第二庁舎 (自動写真機)	北区王子本町一丁目2番1号	ワールド・アメニティ	1
2	荒川治水資料館	北区志茂五丁目41番1号	コカ・コーラ	1
合 計				2

V. その他

1. 地区担当

地域の福祉課題把握のために、職員を王子・赤羽・滝野川の3地区に分け、部署や職層を超えて地域との「顔の見える」関係づくりを進めている。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動自粛を余儀なくされたが、感染状況をみつつ地域行事への参加や出前講座等を行っていく。

①各地区における活動状況

(件)

(件)

No.	項目	王子		赤羽		滝野川		合計	
		R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度
1	行事、会合参加・見学等	0	11	0	41	0	49	0	101
2	出前講座	0	1	0	0	0	9	0	10
3	相談援助	0	0	0	0	0	0	0	0
4	広報協力店への訪問	0	0	0	0	0	2	0	2

② 地区担当活動報告会について

令和3年3月に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。

2. 東京都共同募金会北地区協力会・配分推せん委員会事務局の業務

平成25年度より、東京都共同募金会北地区協力会の事務局を担い、北地区協力会及び北地区配分推せん委員会の運営に携わっている。

(1) 東京都共同募金会北地区協力会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金
- ② 運動期間 令和2年10月1日～10月31日
- ③ 主唱者 東京都共同募金会
- ④ 実施団体 北地区協力会

⑤ 理事会

開催日	出席者数 (人)	内容
【書面開催】 4月	-	・ 令和元年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動の展開 ・ 令和2年度北地区協力会総会
8/31	19	・ 会長・副会長・監事の選出 ・ 令和2年度赤い羽根募金運動の進め方
【書面開催】 2月	-	・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 地域配分（B配分）（令和2年度申請3年度使用）の報告 ・ 令和2年度赤い羽根募金運動 目標額 ・ 令和2年度活動計画案・予算案

⑥ 総会

開催日	出席者数 (人)	内容
【書面開催】 5月	-	・ 令和元年度赤い羽根共同募金運動 事業報告及び決算・監査報告 ・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動 事業計画案・予算案 ・ 令和2年度赤い羽根共同募金運動 目標額

⑦ 事務打ち合わせ会

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止

⑧ 募金実績

(円)

戸別募金	19,536,844
事務局預かり	27,102
合計	19,563,946

(2) 配分推せん委員会

- ① 活動内容 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動の審査及び東京都共同募金会への配分の推せんを行う。
- ② 委員の構成 北区町会自治会連合会/北区赤十字奉仕団
東京都共同募金会北地区協力会/北区民生・児童委員協議会
北区社会福祉協議会

③ 委員会

開催日	出席者数 (人)	内容
10/5	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長の互選 ・ 令和元年度 歳末たすけあい募金 助成事業実績報告 ・ 令和2年度 歳末たすけあい募金 助成金申請内容の審査 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前期・後期申請をまとめて受付
【書面開催】 1月	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度赤い羽根共同募金 募金結果 ・ 令和2年度歳末たすけあい運動募金 募金結果（中間報告） ・ 赤い羽根共同募金 令和2年度使用分 地域配分（B配分）の審査 ・ 令和3年度地域福祉活動費配分事業計画（案）について

④ 地域配分実績（地域で集めた募金を地域で活用できる配分）

	法人・団体数	配分申請額（円）	配分決定額（円）
B配分（地域配分）	23法人・団体 53施設	12,710,000	12,710,000
地域福祉活動事業配分	無	0	0
B配分 令和元年度実績	25法人・団体 56施設	11,670,000	11,670,000

地域配分(B配分) : 施設の利用者が使用する備品や、小破修理、研修などの事業のために助成される配分金（上限：30万円）